



愛知陸協広報

第43号

平成29年11月30日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

名古屋ウィメンズマラソン2018

副会長 外山 幸男

今年の秋は、3度も台風接近がありましたが、大会への影響は、最小限のうちにトラック & フィールドのシーズンも終わりました。中学生・高校生の活躍に将来の愛知の陸上界への期待が膨らみます。健闘を讃えるとともに指導者の方に敬意を表します。また、大会運営を支えた役員・審判員、補助員の方々に深く感謝します。

国際陸連の競技会名に準じる形で今年から大会名を変更してのU20日本選手権・U18日本選手権大会は、パロマ瑞穂スタジアムで8年目の開催となりましたが、3日間、雨天の競技となりました。荒天にもかかわらず16の大会記録・タイ記録が誕生しました。関係の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。台風21号の接近に伴う対応で、3日目のトラック種目の短縮や、午後のフィールド5種目を中止し、全国から参加した選手の無事の帰宅を願いました。雨天の中、ベテランの競技役員を始め、補助員の献身的な活動にも心から感謝します。

12月からは、愛知県市町村対抗駅伝、都道府県対抗男子・女子駅伝、読売犬山ハーフマラソン等のロードのシーズンに入ります。

マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2018は、来年3月11日の開催になります。愛知陸協が主管する最も重要な大会になります。アジア競技大会（ジャカルタ）女子マラソン代表選考レースとなる今大会は、ウィメンズマラソンの定員が2万2千人に拡大し、全カテゴリーのトータルが4万人になりました。海外からも3千名を超えるエントリーがあり、IAAFゴールドラベルのマラソンに相応しいレースであると言えます。女性マラソン出走者数のギネス世界記録の更新は間違いないところです。コースに変更はありませんが、東日本大震災からちょうど7年目に当たるため、制限時間はスタートの号砲から1分間の黙祷時間を含めて7時間1分となります。

毎年、愛知県警察本部を始め各警察署のご指導と関係交通機関のご理解、名古屋市民とりわけ沿道の皆様のご協力によりマラソンコースが確保されています。当日は競技役員とボランティアが安全なレースのため警察官の指導のもとコース整理に当たります。また、ランナーの救護・救急の体制は1000名を超える医療スタッフが救護ボランティアとしてご協力くださり、安全な大会を支えています。今回から新たに、救命講習を受けた1000名がハートサポートランナーとして加わり、さらに充実した体制になります。

愛知陸協は、競技運営を主管します。11月に実行委員会を開催し、各委員会で計画・準備に入ります。当日は早朝から長時間にわたる任務になりますが、安定した運営にはより多くの審判員の方々の協力が必要です。マラソンフェスティバルの成功のため、また、愛知陸協の発展に、今後とも一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



名古屋で8回目のU20・U18日本陸上競技選手権大会 台風接近の悪天候でも16の大会新・タイ記録が生まれる

ジュニア・ユース選手権から名称変更となった大会で、一部変更・中止もありましたが、多くのよい記録が生まれました。関係者に感謝申し上げます。ジュニアオリンピックカップ（最優秀選手賞）には、宮本大輔選手（洛南高：京都）と吉田唯莉選手（小松商高：石川）が選ばれました。

専門委員会報告

総務委員会

「U20・U18 日本陸上競技選手権大会」(前年までの「日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会」を名称変更)が10月20日～22日まで開催されました。

あいにく、台風の接近による雨の影響もあって最終日は午前で競技が打ち切りとなり、午後の競技に出場予定の選手にとっては残念なこととなりました。にもかかわらず、大会新記録も多数生まれました。今大会では一部トラック種目でB決勝(A決勝進出者以外のタイム上位8名が出場)が行なわれ、これも大会の雰囲気を大いに盛り上げました。雨の中、過密スケジュールにもかかわらず多くの審判員の方が競技運営に携わってくださり、大変感謝いたしております。改めてお礼申し上げます。

この大会をもって愛知の2017年トラック&フィールドもほぼ終了し、ロードレースの季節へと移っていきます。気持ちを切り替え、「犬山ハーフマラソン」(2月)、「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2018」(3月)に向けての準備に取りかかっています。(水野 隆夫)

競技委員会

U20・U18 日本陸上競技選手権大会は、台風接近のため、3日目の午前のトラック競技をタイムレース決勝とし、午後の競技を打ち切って終了しました。このような天候にもかかわらず、新記録が延べ15種目、大会タイ記録が1種目誕生しました。U20で大会新が8種目、大会タイが1種目、U18は7種目の大会新記録が出ました。幸いにも雨の降りは強くなく、ほとんどが追い風であったことによるのではないのでしょうか。大会の準備から大会当日、後片付けまでご協力をいただきありがとうございました。

競技委員会では来年度の競技会日程の調整準備に入ります。今年度の日程を参考に、県大会や地区大会を編成していきます。特にパロマ瑞穂スタジアムは、Jリーグとの関係もあり大きな制約があります。その中で、競技者の利便性など多くの条件を勘案して競技日程を決めていくのは難しいのですが、多くの方々の協力を得て調整を行ないたいです。来年度は競技日程を変更したり会場の変更をお願いしなければならない大会もあると思われます。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

各競技会においては、多くの問題が浮き彫りになってきました。競技場使用時間の制約、特に参加者の増加に伴うタイムテーブルの設定などが困難になってきました。参加制限や標準記録等の見直しをし、出場競技者がよい記録を出せることと競技役員に過重な負担をかけないことなどを考慮していかなければなりません。よい案、ご意見等ありましたらお聞かせください。(榊原 茂)

施設・用器具委員会

2017年度検定関係

(1) 一宮総合運動場陸上競技場検定

(公認期間 ～ 2019.3.31)

5年間の公認期間中ですが、「一部改修しないと2017年

度の公認陸上競技大会が開催できない」と事前指導で青木検定員が判断して、3月17日に青木と平川技術役員で一部改修の部分検定を実施しました。2018年度の本検定に向けての予算化が必要になりますので、本年度内の対応をお願いします。

(2) 穂の国豊橋ハーフマラソンコース事前指導等

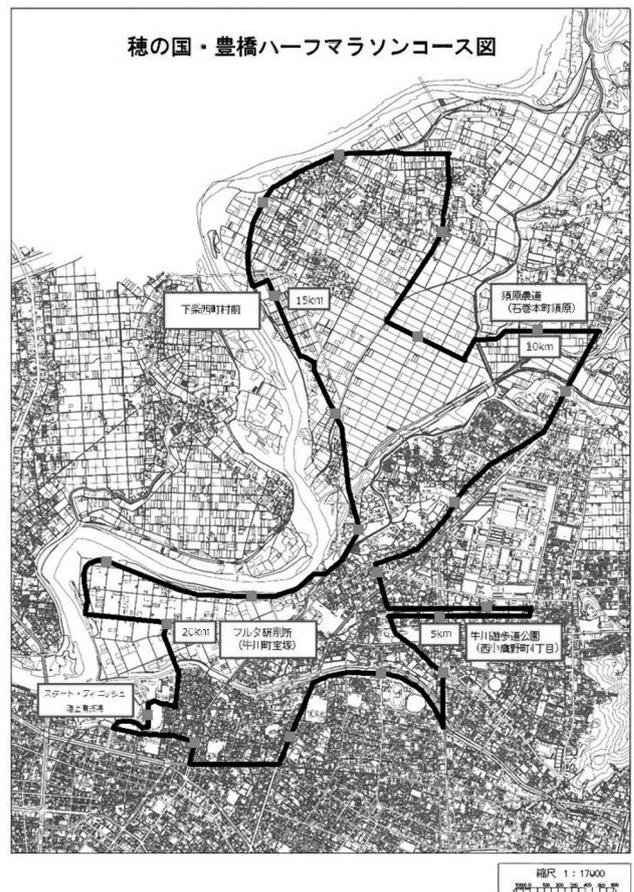
日本陸連の委嘱を受けて、7月4日に青木検定員が現在のコースが日本陸連公認コースにふさわしいか現地調査をしました。5つの改善点を指摘させていただき、日本陸連施設用器具委員会委員長名で文書回答をしました。その後、事務局からすべて改善できると回答をいただきましたので、日本陸連へ正式の申請書を提出してもらいました。10月17日に、青木検定員と桑原自転車計測員と東三陸協の夏日会長と事務局とで、ハーフマラソンコース・カリブレーションコースの下見と計測スケジュールと役割分担の細部を詰めました。(別記)

(3) 蒲郡公園グラウンド4種陸上競技場検定

(公認期間 ～ 2017.8.31)

8月21日(月)4時30分～16時00分にかけて青木検定員と平川・南技術役員により検定を行ないました。不慣れな業者のサポートで、工事の遅れ、宿泊先の手配等の事前準備、検定当日の準備等の段取りも悪く、通常の1.5倍の検定時間がかかりました。また、8月26日には公認大会が予定されているので、不備の指摘事項は、早急な手直しを条件にして終了しました。私の過去の経験では考えられないことばかりで、その対応に大変でした。

競技場の主な特徴は、県内で唯一の土の競技場であることです。円盤投・ハンマー投の囲いを今回撤去したことにより、今後、円盤投・ハンマー投の公認競技会はできなくなりました。



縮尺 1:17000
資料：青島市地籍課

クラブ紹介③⑦ FINDOUT

私たちのチーム FINDOUT を紹介します。物語風にしました。ぜひ、最後まで読んでください。

「あと10分……！間に合うな。」仕事帰りの私は、名古屋千種区千種にあるメガロス千種に向かう。毎週水曜夜8時半、所属する FINDOUT の練習会に参加するためだ。

ジムの駐車場に入る前、自転車の中村麻季子さんを見かける。彼女はつい先日、飛騨高山100kmマラソンで4連覇を達成した。今日は練習会に参加なのだろうか？ジムのスタジオレッスンをしていた普通の彼女を練習会に誘ったが、まさかこんなアスリートになるうとは！

私たちのチームは大会レースにも参加しますが、メインは週一回集まって、みんなでワイワイ話しながら楽しんで走っているランニングチームです。もともとは、「師匠」（代表の浅野さんの事を敬愛を込めて「師匠」と呼んでいる）の声掛けで1人また1人と集まった集団である。

今日の練習会にも、15名ほどがメガロス千種のロビーで集合時間になるのを待っていた。

「今日の練習会リーダーは〇〇さんでしょ！きつそうだよね〜。」

「私先週おばあちゃんになったんだわ〜！」

女子会宜しくお喋りにハナを咲かせている。和気あいあ



やっぱり女性が多いなあ〜っ！ リレーマラソンはみんな大好き♪ といった緩いチームの雰囲気と師匠の人柄のお陰で走る事に全く興味の無かった人たちが不思議とランニングにはまるのである。

一緒に練習会に参加してくれればチームメンバーなので10年の間に登録会員は100名以上になったが、現在活動しているのは、たぶん40名程であろう。そして、なぜか女子比率は60%以上と圧倒的に高い。

練習会は、本来きついはずのランニング練習も皆で走れば何とやらで、きちんと追い込む！

レースに出れば、自分の事のように一喜一憂してくれる仲間がいる。「ランニングは団体競技だったのだ！」と感じさせてくれる、そんなチームである。

さあ、今日も練習頑張るぞ！ (沼崎 伸夫)

連絡先：(代表) 浅野晃吉 090-2576-4526

(4) 犬山ハーフマラソンコース一部変更検定

(12月23日(土)実施予定)

フィニッシュ地点を変更するため、折り返し地点を40m手前に移動して、それ以降のポイントを変更します。また、その後尾張陸上競技協会の協力で全コースの点検も実施します。

穂の国・豊橋ハーフマラソンコース新設計測日程

1. 日 時：2017年12月16日(土)17日(日)
2. コース：別紙のとおり(豊橋市陸上競技場発着)
3. 計測方法：公認の距離計測器ジョーンズ・カウンターによる自転車計測。
4. 日 程

期日	時刻	内 容
16日 (土)	13:00	・陸上競技場近隣市民プール管理棟集合
	13:30	・前日準備の打合せ
	14:45	・カリブレーションコース設営(400mの直線距離を計測)
	16:00	・コース下見(計測員：福島・桑原・平川、愛知陸協：青木・南)
17日 (日)	17:15	・終了後計測の確認と自転車の点検(市民プール管理棟)
	7:00	・市民プール管理棟集合
	7:30	・プレカリブレーション
17日 (日)	9:20	・陸上競技場スタート地点から計測を開始する。
		・ポストカリブレーション

17日 (日)	10:00	・コース距離の計算と報告書作成作業を行なう。
	11:30	・昼食後、ポイントの最終修正と1km毎のポイント作成作業を行なう。 愛知陸協：青木・桑原・平川・南 東三陸協：夏目・中村・松山 事務局：「スポーツのまち」づくり課

(青木 実)

審判委員会

今年度より名称が新たになった「U20・U18日本陸上競技選手権大会」は、台風21号の進路を気にしながらの実施となりました。2日目のリレーは翌日の台風接近に備え、タイムレース決勝として実施されました。夜半より強い雨が降り出した3日目は、前半の種目を実施し、後半の種目は中止となりました。今回の大会は、3日間とも雨の中の活動となりましたけれども、総勢396名、延べ人数で922名の審判員の皆様が大会運営に携わっていただきました。来年度もご協力のほど、よろしく願います。補助員の皆さんも、雨の中にかかわらず、快く働いてくれました。ありがとうございます。しかし一方で、長時間の拘束、活動内容の著しい差など、問題点も見つかりました。来年度は少しでも改善していきたいと思えます。

審判委員会は、3ヶ月前の8月3日に準備計画作成を始めました。大会の準備はほぼ計画どおり順調に進みました。心配していた審判員数も総数で昨年を上回る方の協力を得ることができました。特記すべきこととして、2日目終了間際の台風の進路予想と対策案の説明会の実施を挙げ

ておきます。その際、翌日に暴風警報が発令され、大会が中止となった場合に、警報発令下でも後片づけに協力して下さる方を募集しました。予想を超える大変多くの方々から、協力の申し出をいただきました。紙面ではありませんが、審判員の皆様のご厚意に改めて感謝しお礼を申し上げます。ありがとうございました。

ここで、今後の活動の改善点をまとめておきます。当委員会として、来年度に向けてより良い審判編成や活動方法等を考えていきます。その一環として各担当部署の反省のみでなく、委員会としての反省もまとめ、反省会を実施します。審判員の皆様からの忌憚のないご意見・改善案等をお待ちしています。

次に、今年度の後期審判出席調査は、その調査方法を変更して実施しました。昨年度までは、「ジュニア・ユース」、「ウィメンズマラソン」、「その他の大会」と、3回実施していました。7月後半という早い時期でしたが、3月11日の「ウィメンズマラソン」までを調査対象として実施しました。7月に3月の予定がつくのだろうかと心配をしました。心配していた「ウィメンズマラソン」は十分な数とは言えませんが、現在約430名の方から出席とのご回答をいただいています。大会までの残りの期間において、一人でも多くの方にご協力いただけるよう、何らかの働きかけをしていきたいと考えています。皆様におかれましても、参加協力の呼びかけを行っていただければ幸いです。

今年度もまだ、多くの大会を残しています。今後ともご協力お願いいたします。(櫻井 一美)

選手強化委員会

第72回国民体育大会(2017笑顔つなぐえひめ国体)愛知県陸上競技選手団の派遣につきまして、格別のご配慮をいただきスタッフ一同深く感謝申し上げます。

本大会の結果は全33種目のエントリーのうち、17種目において入賞を果たしました。チーム編成当初は、今回入賞者はほとんどないのではないかと、苦しい予想でスタートしました。合宿・練習会では「我々に失敗はない。あるのは成功だけ。攻めて攻めて攻めまくれ。」と何度も選手たちに話し、スタッフの皆さんには選手の能力を120%引き出すことを目標に、2ヶ月取り組んでいただきました。その結果が17種目の入賞、天皇杯(都道府県対抗総合成績)8位入賞まであと4点の9位という、予想を覆す愛知らしい戦いをしてくれました。

湯上剛輝選手(トヨタ自動車)が初日に実施された成年男子円盤投に出場し、大雨という悪天候の中で59m24(大会新記録・愛知県新記録)というビッグスローで優勝の栄冠を勝ち取り、男子キャプテンとしてチームに勢いをつけてくれました。その後も少年男子共通5000mWの鈴木智大選手(明和高)、少年女子A400mの片山菜里選手(岡崎城西高)、少年女子B100mYHの安達楓恋選手(中京大中京高)、少年女子共通棒高跳の水上真里選手(岡崎城西高)、



大会新・県新の円盤投
湯上剛輝選手

三段跳の宮川杏奈選手(三好高)がその実力を発揮し、上位入賞を果たしてくれました。さらに少年男子共通やり投の藤井瑞樹選手(名古屋大谷高)、少年男子B3000mの柳本匡哉選手(豊川高)、少年女子Bやり投の田中友梨選手(至学館高)は、大会前のランキングではトップ10に入れない順位でしたが、国体という大舞台で自己記録を大幅に更新し、見事入賞を果たしてくれました。また高須鮎香選手(中京大中京高)・杉山美貴選手(中京大)・長谷川愛樹選手(中京大中京高)・市川華葉選手(ミズノ)でバトンを繋いだ成年少年女子共通4×100mRでは、準決勝において45秒44という愛知県新記録をマークし、決勝でも6位入賞を果たしました。



県新の4×100mR高須・杉山・長谷川・市川選手

残念ながら本大会での入賞を逃した選手も、出場選手のサポートやスタンドで声をからしながらの応援で、『チーム愛知』の一員として戦ってくれました。また世界大会の出場経験をもつ女子キャプテンの市川華葉選手や及川文隆選手(東洋大)を始め、成年選手たちは自分たちの発想や経験を少年選手に伝えようと、積極的に助言をしてくれました。国体は様々な年代の選手が一つのチームになれる貴重で素晴らしい大会です。少年選手にとって憧れの成年選手からのアドバイスは、かけがえのない宝物であり、今回県代表として出場した少年選手の中から愛知県の次代を担い、さらには世界へと羽ばたいてくれる選手が出てくれることを願っています。

最後になりましたが、今後も本県の陸上競技の競技力向上と普及・発展を目標に、強化委員会スタッフ一同頑張っておりまます。更なるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(明星 光信)

記録・情報処理委員会

トラックシーズンを終えて

名称が変更になった今年のU20・U18日本選手権大会は、台風により日程や競技の変更を余儀なくさせられました。しかし、役員・補助員の皆様のおかげで、競技に集中できる環境を構築していただき、悪天候の中でも、16もの大会新・タイ記録が達成されました。その他の大会におきましても、同様の心遣いでの運営を感謝申し上げます。

本年度より日本陸連競技規則265条の改正により、U18日本記録が公認されるようになり、従来の「最高記録」からU18日本記録・U18県記録という記載になっています。このU20・U18の記録の把握のためには、学年・生年月日が必要です。各地区ともほとんどの大会において、記録

の電子申請をしていただけるようになり、記録の把握が順調にできるようになっていますが、申し込みに際して、是非学年・生年月日の入力をお願いします。また、正確な申請のためには、ハードルや投擲など器具の規格のデータの記載が必要です。運営システムの競技種目につきまして、砲丸投(6.000kg)のように表記をお願いいたします。

以下は2017年10月31日までの県新記録です。

県新記録

男子

100km	6.33.52	風見 尚 (愛知陸協)	
[第32回サロマ湖100キロマラソン (サロマ湖100キロマラソンコース) 6/25]			
10kmW	39.12	丸尾 知司 (愛知製鋼)	
[100回日本選手権20KmW(途中)(六甲) 2/19]			
30kmW	2.14.18	丸尾 知司 (愛知製鋼)	
[第16回世界選手権50KmW(途中)/GBR(ロンドン) 8/13]			
50kmW	3.43.03	丸尾 知司 (愛知製鋼)	
[第16回世界選手権/GBR(ロンドン) 8/13]			
円盤投	59.24	湯上 剛輝 (トヨタ自動車)	
[第72回国体(愛媛) 10/6]			

女子

200m	23.39 (-0.2)	市川 華菜 (ミズノ)	
[第101回日本陸上競技選手権(大阪市長居陸上競技場) 6/24]			
100mH	13.45 (+0.3)	小林紗矢香 (愛知教育大)	
[第101回日本陸上競技選手権(大阪市長居陸上競技場) 6/24]			
4×100mR	(単) 45.48	中京大中京高	
(高須鮎香・久野なつ・天神綾音・長谷川愛樹) [第70回全国高校総体(山形) 7/31]			

タイ記録

100m	11.43 (+1.1)	市川 華菜 (ミズノ)	
[布勢スプリント(布勢運動公園陸上競技場) 6/4]			

高校記録

男子

1000m	2.30.56	鳥居 風樹 (中京大中京)	
	2.31.35	近藤 亨 (愛知)	
	2.33.67	野川 寛太 (愛知)	
	2.34.11	稲葉 直希 (愛知)	
	2.34.18	荒木 幸平 (愛知)	
	2.35.00	伊藤 壮太 (中京大中京)	
	2.35.37	中尾 匠吾 (阿久比)	
	2.36.67	松本 康汰 (愛知)	
	2.37.22	小木曾加門 (愛知)	
	2.37.48	齊木 淳人 (愛知)	
	2.37.88	鵜飼 涼矢 (愛知)	
	2.40.01	西尾 勇佑 (中京大中京)	
[平成28年度名古屋地区競技会 (パロマ瑞穂スタジアム競技場) 3/20]			
3000mW	12.31.27	小林 貫太 (丹羽高)	
[知多尾張高校ジュニア(知多) 7/23]			
5000mW	20.28.57	鈴木 智大 (明和高)	
[国体選手強化普及競技会(パロマ瑞穂スタジアム競技場) 4/15]			

女子

1000m	2.57.85	森 美月 (愛知)	
	3.01.87	近藤 望未 (中京大中京)	

3.05.29	森崎 綾乃 (豊明)	
3.05.57	安井 佳苗 (愛知)	
3.09.95	今井 優花 (愛知)	
[平成28年度名古屋地区競技会 (パロマ瑞穂スタジアム競技場) 3/20]		
100mYH	(76.2cm 8.5m)	
13.69 (+0.4)	安達 楓恋 (中京大附中京高)	
[第11回U18日本陸上競技選手権 (パロマ瑞穂スタジアム競技場) 10/20]		
4×100mR	45.48	中京大中京
(高須鮎香・久野なつ・天神綾音・長谷川愛樹) [第70回全国高校総体(山形) 7/31]		
棒高跳	3.80	水上 真里 (岡崎城西高)
[国体選考強化普及(瑞穂) 4/16]		
	3.70	塩崎 泉 (至学館高)
[県選手権名古屋地区予選会(瑞穂) 6/3]		
三段跳	12.66 (+1.2)	宮川 杏奈 (三好高)
[第77回愛知選手権(パロマ瑞穂スタジアム競技場) 7/17]		
	12.34 (+1.7)	都築 陽奈 (三好高)
[第60回東海選手権(長良川) 8/27]		
	12.48 (0.0)	都築 陽奈 (三好高)
[第11回U18日本陸上競技選手権 (パロマ瑞穂スタジアム競技場) 10/21]		

中学記録

男子

100m	10.80	浦野 凱瑛 (豊岡中)	
[東三河中学総体(豊川) 7/15]			
110mJH	14.68 (-0.6)	鈴木 大河 (扇台中)	
[愛知ジュニアオリンピック(瑞穂) 9/10]			
4×100mR	(単) 42.78	扇台中	
(小島秀斗・西垣拓音・鈴木大河・吉田壮一郎) [第44回全日本中学選手権(熊本) 8/22]			

女子

4×400mR	3.55.53	TSM	
(中西楓夏・澤美羽・大井サラ・池田汐李) [第60回東海選手権(長良川) 8/27]			
四種競技	2839	池田 汐李 (柏原中)	
[第63回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会 (パロマ瑞穂スタジアム競技場) 7/21・22]			

参考 外国人競技者

3000m	7.50.68	バーナード・ムイア (トヨタ紡織)	
[第1回世田谷競技会(世田谷区立総合運動場陸上競技場) 4/8]			
3000m	7.51.48	アモス・キルイ (トヨタ紡織)	
[第1回世田谷競技会(世田谷区立総合運動場陸上競技場) 4/8] (石鎚 一則)			

女性委員会

7月1日・2日に愛知レディース陸上競技大会がパロマ瑞穂グラウンドで開催されました。今年度は、中学生の部が443名、一般・大学・高校の部が397名、そしてリレーに49チームの参加となりました。大会新記録が11、大会タイ記録2が生まれました。その中でも中学100mHにおいては、1位の松本佳音彩さん(TSM)14"43、2位の池田汐李さん(TSM)14"51、3位の成田乙葉さん(桜田中)

学校訪問③ 三好高校 今年度東海高校総体女子の部総合5位入賞

今回は、今年度東海地区の総体女子総合の部で5位に入賞した三好高校を訪問しました。得点に絡んだ選手は二人でしたが、この二人が18点を獲得するに至るまでには部全体の相当な底上げがあったはずですが、いつものように強さの秘訣を探るべく、東海高校新人戦の翌週の水曜日に訪問しました。

平日に訪問したのは、大きな理由があります。それは選択実技の授業時間がある日だったからです。選択実技について説明を施しておきます。この授業は、スポーツ科学科の人たちが授業時間内に活動する部の時間と言っておのがよいでしょうか。学年に3クラスあるスポーツ科学科（三好高校は普通科とスポーツ科学科の併設校）の人たちが自分が所属している部の種目を選択して取り組む時間です。ただし、全ての部活動の種目が開講されているものではありません。たとえばテニスの講座が開かれておらず、陸上競技を選択してその時間は陸上部員と一緒に活動するといった具合です。この時間が週に2日（水曜日と金曜日）2時間の連続授業の形で実施されています。陸上部員にとっては、授業後の部活動の他に授業時間内に4時間活動ができるという形になっているのです。スポーツ科学科の特性を生かした活動は、陸上部としてのパフォーマンスを高める大きな力になっているに違いありません。

施設面での強みを2点挙げておきましょう。一つめは、グラウンドの広さです。開校当初は「体育コース」として始まったそうですが、それでも体育を意識してグラウンドも整備されたのでしょうか。400mトラックが作れるほどの広さがあります。実際、10年ほど前は縁石を備えた400mのトラックが存在していたそうです。今は野球やサッカー、ラグビーなどの他の部活との関わりでトラックは半分の200mまでになっています。縮小されたものの、ホームストレート側の直線はグラウンドの端から長さは90m程、幅は10レーン取れる程あり、不足のないものと思われました。二つめは、4基の照明灯です。訪問したのが11月初旬で早くに日が落ちる時期ですが、7時まで十分に活動できる明るさが得られていました。照明のない学校では5時30分あたりで練習を切り上げなければならない時期になっていますから、この1時間以上の時間は選手を鍛え上げるのに大いに役立っていると思えました。



施設の強み 照明灯



動画でフォームチェック

トレーニングの中でこれはと思われたことを一つ挙げておきます。それは、スマホによる動画の有効活用です。選手たちは手に手にスマホを持ってグラウンドに集まってきました。そして互いに走り撮影しあい、一人ひとり動画の画面を食い入るように見つめていたのが印象に残りました。時には、選手どうしで、時には顧問の小野田基先生、児玉征久先生にアドバイスを受けながら、自分のフォームを確認していました。お二人の顧問の先生はミーティングの中で、「見る目を養うことが大切。着眼点を持たなければ、見えるものも見えてこない」とおっしゃっていましたが、毎日の積み重ねの中で選手一人ひとりが分析的な目を養ってきているのでしょうか。こうしたやりとりの中で、私は選手どうしの隔てがないことも強く感じました。1年生と2年生、男子と女子といった隔ては皆無と言ってよいと思われました。そのうえ、お二人の顧問の先生がまだまだお若いということもあるのでしょうか、顧問の先生と選手との距離もとっても近いなという思いを持ちました。部の雰囲気は、部のパフォーマンスにとっては欠かせないものです。顧問のお二人からは、スマホ動画の利点として、保存ができて各自が手もとにもっていられるのでいつでも確認ができるとのお話も伺いました。

部の雰囲気作りに役立っていると思うものが、ここにもありました。それは、以前の号で名城大付属高校や大高中学校、一宮高校などの紹介をしましたが、お揃いのTシャツです。色違いで何着かあるようでしたが、背中へのデザインは同じで、「三好」を強く意識させるものだと思われました。選手たちにとって無意識のうちにとということなのかもしれませんが、部の一体感を形作るうえで必ず大きな力を発揮している、私はそう思いました。



揃いのTシャツ

授業後の部活動ではもう一人の顧問の先生とお会いしました。南晋太郎先生です。先生と言うよりは選手と言うほうが適切なのかもしれません。三好高校のOBで走幅跳7m79cmが持ち記録の大選手です。外部コーチという形で指導にあたっておられますが、大学卒業後3年ということで今も日本選手権に出ておられる方です。お手本になる選手が身近にいて一緒にトレーニングに参加して下さるわけですから、選手たちは自然とよい動きを身に付けられていくのだと思えました。顧問のお二人は、南君がうちの秘密兵器だとおっしゃってました。こうした中で宮川杏奈選手(3年)の三段跳の東海高校新記録が生まれたのでしょうか。インターハイ、国体での入賞も得られたのでしょうか。その宮川選手に続けとばかり、1学年下の都築陽奈選手が先日東海高校新人戦の三段跳で優勝を果たしました。三好高校の強さはこれからもといったところです。

お二人のお話には続きがあって、今日はお会いすることがありませんでしたが、陸上部には更に早川由高先生と山神愛鈴先生のお二人の普通教科の顧問の先生がおられるのだそうです。小野田、児玉のお二人は、我々二人が不在の時に補ってもらえてとても助かっていますとおっしゃっていましたが、何と強固な体制かとうらやましくなりました。5人の顧問の先生によると言うところちょっと大げさかもしれませんが、この体制のうえにパフォーマンスが築かれているのでしょうか。今のところの三好高校の目標は、「公立高校で愛知県内トップの座」だそうですが、それも近いうち実現されるのではないかと思います。取材を終えました。

(取材・文責 大西敏功 写真 新見精三)

14'54と3選手が大会新記録という素晴らしいレースでした。今後の活躍が楽しみです。

今年度もトラックシーズンがほぼ終了しました。マラソン・駅伝シーズンに入っています。名古屋ウィメンズマラソンは、3月11日(日)に開催されます。この大会も夏からスタートした「マラソングランドチャンピオンシップシリーズ」の1つの大会です。東京2020オリンピックの出場を目指す選手も参加する大会となります。目の離せないとても楽しみな大会になりそうです。審判委員会からもお願いが出ていますが、まだまだ審判員が不足の状態です。ぜひ、大会運営にご協力ください。特に女性審判員の皆さん、ぜひご協力いただけたらと思います。よろしくお願いします。



3選手が大会新記録の中学100mH
(谷崎 好美)

力のほどよろしくお願いします。(田中 輝彦)

尾張陸上競技協会

今年度のトラックシーズンは、全体的に競技レベルの底上げができたシーズンでした。山形インターハイには8名が出場、男子走幅跳で磯部晃太郎選手(津島東)、女子円盤投で平野優花選手(愛知黎明)が、それぞれ7位に入賞しました。熊本の全日中には、入賞者こそ出ませんでした。過去最多の10名が出場しました。

第64回尾張陸上選手権大会では、尾張新1、大会新10が誕生しました。1日目の男子100mでは、追風参考ながら4位までが10秒50以内というハイレベルの戦いに観客席が大いに沸きました。2日目の男子ハンマー投では、墨選手(中京大)が67mを超える大アーチを見せてくれました。また、リレーを含め5種目に優勝した近藤七海選手(津島高)に特別賞が贈られました。



優秀選手：墨 訓熙、徳岡 沙織 特別賞：近藤 七海

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

トラックシーズンをほぼ終えて

例年のように4月当初から競技会の準備に追われたシーズンでした。4月1・2日からの第1回名古屋地区陸上大会から始まり、小中学校の大会を含めて運営を行ってきました。夏季休業中に小学生の大会が開催されていなかったため、今年度は8月に小学生夏季記録会を新設して要望に応えることとなりました。特に10月7・8日、14日の3日間で行なうこととなった名古屋地区選手権大会は、競技役員のやりくり苦心しましたが、学生審判員の助けもあり、何とか運営することができました。しかし、高校の定期テストや中学生の大会が続き、参加者が若干少なくなっただけで、今後の検討課題となりました。

今年は名古屋地区の選手の活躍としては、小学生では、8月19日に日産スタジアムで開催された全国小学生陸上大会で、TSMの田島七里香さんが80mHで大会新記録で優勝し、なごや陸上クラブでは山内梨聖さんが走高跳で、武井葉夏さんが走幅跳でそれぞれ3位となりました。中学生では、8月20～22日に熊本県で開催された全日本中学校陸上大会で、扇台中学の鈴木大河くんが、110mHで優勝し、4×100mRでは3位となりました。高校生では、7月29日～8月2日に山形県で開催された全国高等学校総合体育大会で、中京大中京高校が女子4×100mRで優勝し、明和高校の鈴木智大くんが5000m競歩で2位となりました。これらは選手たちの努力の結果ではありますが、長年名古屋地区が、ふれあい陸上を開催するなどしてきた選手強化のたまものだと思います。また名古屋地区では、全国大会へ出場した選手たちに記念品を渡したことなども選手たちの励みとなりこのような結果を得たと考え、今後も選手強化に努めていきたいです。

今年も名古屋地区の審判員の負担が増加するなかで、ご協力いただき何とか終わることができました。今後もご協

尾張陸上競技選手権大会新・尾張新樹立者(優勝者)

	種目	氏名	所属	記録	備考
男子	800m	中島 慎哉	起工高	1.55.26	大会新
	5000mW	戸松 弘成	愛知教育大	20.42.96	大会新
	4×400mR	宮川 拓海 渡邊 駿風 畑野 佑太 祖父江 巧	中京大	3.21.23	大会新
	ハンマー投	墨 訓熙	中京大	67.64	尾張新
	やり投	藤垣 諒	至学館大	66.66	大会新
女子	5000m	小林 利江	愛知黎明高	17.45.40	大会新
	砲丸投	徳岡 沙織	ウェーブ	12.94	大会新
	円盤投	徳岡 沙織	ウェーブ	43.08	大会新

第33回U20日本陸上競技選手権大会では尾張地区の関係者として女子円盤投で2人が入賞しました。3位の川口紅音選手(津島高→日体大)、4位の平野優花選手(愛知黎明高)です。

大きな飛躍につながる冬季練習が近づいてきました。選手のみなさんの成長をサポートできるように、今後も企画、運営していきます。協力よろしくお願いたします。

今回もまた尾張陸協の競技運営上の工夫を紹介します。今回は写真撮影の問題についてです。県営一宮総合運動場が全天候型走路に改修された時にスタンドが併設されました。そしてスタンドから撮影する方が少しずつ増えてきました。競技場のスタンドは狭い(ホームストレートの南側のみ)ので、選手を正面や後方から撮影することはできま

せん。よって盗撮といった問題は起こりにくいのですが、それでも県に準じて問題が起こる前に防ごうと、5年前からプログラム注意事項に写真撮影に関する注意事項を県の大会と同じように掲載しています。しかし、観客全てにプログラムが行き渡るはずもなく、理解してくださる方は、ほんの一握りでした。そこで撮影を許可制にし、本部で許可証を発行するシステムを作りました。それが3年前です。許可証の発行については、競技会中に何度もアナウンスをして浸透を図りました。

こうした流れの中で観客の方たちに陸協側の願いが浸透していったのですが、それでも100%という訳にはいきません。そこで今年度はスタンド入口の階段下に、手作りの立看板(廃材を利用しており、材料費はかかっていません)を設置しました。これが功を奏したのか、多くの方が手続きをしてくださるようになりました。撮影する方には許可証を首から下げて撮影していただいております。また、撮影エリアをスタンドに限定(高校の写真部にだけは例外的にグラウンド内での撮影を認めています)していることもあり、ここまでのところ撮影に関するトラブルは起こっておりません。



立看板



受付



許可証



撮影の様子

(青山 充資)

西三河陸上競技協会

本年度も西三河の陸上界は健在です。昨年度のように、すべてのカテゴリーの優勝とはなりませんでしたが、今年度は全体の入賞総数で昨年をすでに上回っています。年度後半に実施予定の陸上教室の際に例年どおり表彰致します。

日本選手権

走高跳	8位	水谷 来	(中京大 岡崎城西卒)
棒高跳	優勝	山本 聖途	(トヨタ自 岡崎城西卒)
	4位	鈴木 康太	(中京大 岡崎城西卒)
100m	優勝	市川 華菜	(ミズノ 岡崎城西卒)
200m		〃	
100mH	8位	小林紗矢香	(愛教大 安城学園卒)

東海インカレ

棒高跳	優勝	鈴木 康太	(中京大)
100mH	優勝	小林紗矢香	(愛教大)
走幅跳	2位	石原 薫子	(中京大 岡崎城西卒)
棒高跳	6位	今泉 友里	(中京大 岡崎城西卒)

全国インターハイ

800m	8位	宇野 佑亮
400m	4位	片山 葉里
棒高跳	3位	水上 真理 (以上 岡崎城西)
三段跳	2位	宮川 杏奈
	7位	都築 陽奈 (以上 三好)
ハンマー投	7位	平野 栞菜 (安城学園)

全日中

800m	2位	片山 宗哉 (城北)
	7位	深津希瑠亜 (末野原)
1500m	2位	後藤 謙昌 (翔南)
4×100mR	優勝	高野 景子 土居 心愛 手島 美咲 土居 幸愛 (竜海)

全国小学生交流大会

4×100mR	6位	向井 悠汰 大参 南斗 堀 紘輝 斎藤 和弥 (安城 JAC)
---------	----	------------------------------------

国民体育大会

走高跳	5位	水谷 来 (中京大)
400m	4位	片山 葉里 (岡崎城西高)
100mH	7位	小林紗矢香 (愛教大)
棒高跳	3位	水上 真理 (岡崎城西高)
三段跳	3位	宮川 杏奈 (三好高)

すでに来年度の競技会日程や競技場の確保へ向けて夏場より検討し、交渉中ですが、それぞれの市もその他の行事計画がありなかなか思いどおりに行かず苦勞しているのが現状です。

本年度より3年計画で岡崎競技場を改修工事中ですが、進行状況等については次回に報告したいと思います。

場所的にも恵まれている安城市営競技場は、四種競技場でありフィールドが未公認の人工芝のため、通常の競技会では使用できません(本年度公認大会は、中学の通信予選・選手権の2試合のみ)。今後も三種競技場への改修に向けて陳情活動を続けて行く予定です。

各大会時の待機場所取りのため集合時間が極端に早い団体があり、競技場や近隣の皆さんにご迷惑をかけるようになりました。そこで、試験的に高体連の競技会において参加人数等を考慮しながら場所割りをし、開門時の混雑緩和に努める事にしました。特に部員数の多い学校に不自由な点もあるかと思いますが、協力よろしくお願いします。

今後予定されている、各駅伝においてもさらなる活躍を期待しています。(柴田 和秀)

東三河陸上競技協会

今年の東三河陸上界での最大の話題は、豊橋市陸上競技場のスタンドの改修工事です。このスタンドは、昭和24年11月に東三河初の本格的な400mトラックを有する陸上競技場として建設されました。開場記念として第1回秩父宮杯一般対学生対抗陸上競技大会が開催された時から、東三河の陸上競技の発展をずっと見守ってきました。

昨年のトラックシーズンが終わった11月に取り壊し工事が始まり、1月から3月までは埋蔵文化財発掘調査が行なわれ、4月からスタンドの基礎工事が始まりました。来



9月に入り、スタンド部分が工事用の囲いをこえてきた工事の様子
(豊橋市ホームページより)

年3月の穂の国ハーフマラソン大会でお披露目される予定です。

豊橋市陸上競技場が1年間使えないため、本年度の競技日程を組むことにとっても苦労しました。豊川市のスポーツ課には、無理なお願いを聞いていただき、期日は例年と多少は変更になりましたが、ほとんどの大会を組み入れることができました。

ところが、トラックシーズンが始まって間もない4月29日、高校の合同練習中に突風で豊川市陸上競技場の投てき用囲いが飛ばされ、支柱にひびが入り使用できなくなりました。翌週には、高校総体の東三河予選会を控えており、夏日会長が豊橋市の「スポーツのまち」づくり課(本年度豊橋市の組織改編があり、教育委員会スポーツ課が市民協創部「スポーツのまち」づくり課となりました)に掛け合い、豊橋市陸上競技場のフィールドを使用させていただけることになりました。おかげで、5月の高校総体東三河予選会と6月の愛知選手権東三河予選会、9月の高校新人東三河予選会を何とか終えることができました。(兵藤 重二)

関係団体報告

小学生友の会

29年度の小学生友の会は例年どおり県小学生リレー競走大会(6月)と県小学生選手権大会(11月)がパロマ瑞穂スタジアムで行なわれました。招待リレーもU20・U18日本選手権大会(10月)で開催されました。小学生の中でも上位の選手にとっては、緊張感のある大会や招待レースが続いたため、好記録を出す選手・チームも多く、とても充実したトラックシーズンでありました。

“日清食品カップ”第33回全国小学生陸上競技交流大会 選手団名簿と記録

日程：平成29年8月19日(土) 会場：日産スタジアム

カテゴリー	氏名	所属クラブ
総監督	谷寄 好美	小学生友の会
コーチ	松井 昭宏	岡崎 JAC
	桑山 修一	TSM
	夏目 良幹	田原陸上クラブ

支援コーチ	大矢 新吾	なごや陸上クラブ
	木村 和代	JAC 武豊
	生田 篤志	豊橋陸上クラブ
	太田 貢	安城 JAC

男子

種目	選手名	チーム名	記録
4×100mR	向井 悠汰	安城ジュニア 陸上クラブ	50秒93 6位 準決記録 50秒69
	大参 南斗		
	堀 紘輝		
	齋藤 和弥		
	※松永航太郎		14秒37
5年100m	高井 佑太	JAC 武豊	13秒59
6年100m	中山二千翔	東浦 AC	13秒03
80mH	鈴木 哉汰	TSM	12秒61 7位
走高跳	小林 航大	TSM	1m45 4位
走幅跳	谷口 瑠昊	Spirits	4m66
ジャベリックボール投	渡辺 陸	JAC 武豊	44m53

女子

種目	選手名	チーム名	記録
4×100mR	菅沼 梨瑚	豊橋陸上クラブ	52秒39 3位
	小酒井結菜		
	小原すずか		
	熊本 彩		
	※鈴木 愛良		14秒07
5年100m	佐藤 俐有	田原陸上クラブ	13秒76 3位
6年100m	林 美希	岡崎 JAC	13秒63
80mH	田島七里香	TSM	12秒20 1位 (大会新)
走高跳	山内 梨聖	なごや陸上クラブ	1m35 3位
走幅跳	武井 葉夏	なごや陸上クラブ	4m79 3位
ジャベリックボール投	中村 文香	TSM	43m98

※印は友好100mレースに出場



日産スタジアムでの記念撮影

8月18日(金)・19日(土)に第33回全国小学生陸上競技交流大会が今年も横浜・日産スタジアムで開催されました。1日目は日産スタジアムでの大会前練習と日清食品ミュージアムの見学が行なわれました。2日目の大会当日は、昨年度の大雨での大会の経験を活かし、愛知県選手団の選手やコーチの一人一人が協力・活躍し、この大会に全力で挑むことができました。

その成果として、女子80mHが大会新記録での優勝、女子リレー、女子5年100m、女子走高跳、女子走幅跳が3位、男子走高跳が4位、男子リレーが6位、男子80mHが7位に入賞し、チーム愛知のレベルの高さを今年も実感できました。

中でも輝いていたのが女子の80mHです。予選から他の選手を寄せ付けない走りを見せ、決勝では場内アナウンサーの選手紹介で会場中の注目を集め、堂々の1位を獲得しました。昨年度は5年女子100mでこの大会に出場しましたが、1年間、しっかりと練習に取り組んだ成果が発揮できたと思われます。大舞台でも緊張することなく挑戦できた田島七里香選手には、今後もさらに大きな大会での活躍を期待せずにはられません。

また、田島選手を始めとした入賞選手だけでなく、惜しくも入賞できなかった選手たちも大いに活躍できました。

そして、11月3日(祝金)にパロマ瑞穂スタジアムで行なわれた第31回愛知県小学生陸上競技選手権大会においては、全国交流大会参加選手の活躍や成長を見られただけでなく、全国交流大会参加選手を上回る選手や肩を並べる選手が登場してきました。県小学生記録や大会記録が続出し、中学校での活躍も期待しています。



表彰式で喜びを表す田島七里香選手
(大矢 新吾)

中小体連

○全日本中学校陸上競技選手権大会(8/19~22 熊本)
4年連続で70名以上参加しました。しかも75名の出場者数は、過去最高となります。

今年の大会は、男子中長距離陣の活躍(800m 3人決勝進出、1500m 2位)に加え、扇台中の活躍(110mH・鈴木大河選手優勝、男子4×100mR 3位)や、竜海中の本県初となる女子4×100mR優勝など、本県の活躍が注目される場面が多くありました。

また、大会後の専門誌上には恒例の県別対抗順位が掲載されますが、本県の男女総合順位は千葉県、兵庫県、福岡県に次いで全国第4位(男子は千葉県と0.5点差の2位)と、優勝者以外にも多くの選手が高いパフォーマンスを十分に発揮することができたと考えます。

この成果の背景は、選手の努力、日々指導されている先生方の熱意と指導力、選手のご家族の支えによる所が最も大きな要因であることは言うまでもありません。しかし、その他にも、各都道府県の多くの先生方と情報交換をさせていただく中で、わが県の規模や恵まれた自然環境といったハード面に加え、本県のソフト面での強みを2点強く感じたので紹介させていただきます。

1点目は、小学校年代における「陸上競技の本質的な楽しさを味わわせる」ことを大切にクラブチームの存在の大きさです。

2点目は高校生年代を指導される先生方の、高い専門性から導かれる適切な指導のあり方について、意見交換や勉強させていただく場が日常の競技会や先生方の人間関係の中で、自然と行なわれていることです。

中体連陸上競技部としても、これからもよい意味での縦の連携、つながりを大切に、より多くの選手が全国大会

ホープさん ③⑥

中野 裕仁 選手(名城大附属高2年)

中野裕仁君は小学校からたくさんのスポーツに触れあい、取り組んできました。

JAC武豊というクラブチームに所属して陸上競技に取り組み、その中でも特に走幅跳に興味を抱いたのは、小学6年生で5m02を跳んでからです。以後、中学1年では5m50、中2で6m00 中学3年生では6m65を跳躍し、全国中学大会(北海道)で8位入賞を成し遂げました。

縁があって、名城大附属高校に入学して間もなく、誰もが目指す県インターハイで1年生ながら優勝してしまいました。そこで、全国インターハイに出場することを目標に前半戦は集中し、見事全国インターハイに出場しました。しかし、本番では上級生に圧倒され、また体力面でも弱さが出て、予選敗退でした。気持ちを切り替えて、秋の国民体育大会(岩手)を目標に取り組み、念願の全国優勝を勝ち取りました。彼の集中力の高さに驚かされました。

2年生になり更に順調に伸び、7m45cmまで記録を伸ばして、東海インターハイで優勝しました。しかし、全国では8位入賞で終わり、悔しい思いをしました。すべてが順調ではなく、悪戦苦闘しています。しかし彼のすばらしさは、競技力もさることながら、人柄にあります。先生や友人を本当に大事にします。信じる力、頑張る力を備えているので、どんどん前に進みます。本当に素直に頑張る力と、自分を分析し試合に合わせていける自己調整力に優れています。

これからも苦難はありますが、彼の持っている力を十分に発揮して、秋のU18日本選手権では大きな力を出せることを期待したいです。将来、日本選手権で戦える選手になってくれることを期待しています。

(9/30 谷 政人)



2016 岩手国体で走幅跳優勝

に出場し、活躍できる下支えをしていきたいと強く感じた全中でもありました。

平成30年は1月6・7日に「日本陸連U16東海ブロック合宿」を初めて本県で行ないます。東海4県のトップ選手160名をパロマ瑞穂スタジアムにお迎えし、岡山全中に向けて本格的に始動します。様々な場面で関係各位にお支えいただくことになるとと思いますが、引き続き、よろしくお願いいたします。

○平成30年の全中大会(岡山)より、下記の種目において標準記録の引き上げが検討(正式には年度末の日本中体連理事会において決定)されています。ご準備ください。

女子200m 25.90 → 25.80

(丹羽 智行)

高体連

平成29年度大会を総括して

本年度の山形総体には、総勢154名という過去最多の昨年と同数の参加者数で臨むことができました。この数は単独地区の北海道を除けば福岡県について全国2位の数でした。その中で本年度は、女子4×100mRの1種目の優勝を成し遂げました。総入賞者数は男子が7種目、女子が12種目でした。

女子4×100mRの中京大中京の優勝は、愛知県勢としては第49回大会の市邨学園以来、久しぶりの優勝でした。また、45秒48という記録は、東海高校新記録、愛知県高校新記録でした。

山形大会から新規に導入された女子三段跳で、三好高校宮川選手は惜しくも2位、同じく三好高校都築選手が7位、女子棒高跳では岡崎城西高校の水手選手が3位、至学館高校の塩崎選手が5位でした。女子新種目は県内で数年前から新人戦において実施をしてきました。また、昨年からはオープン種目として県総体でも実施し、選手数の増加を目指し努力したことが、結果として表れたものと考えます。男子では5000mWの明和高校鈴木君は惜しくも2位、海洋学園の藤邊選手が100m、200mで2種目入賞と頑張ってくれました。本年度は上位入賞が少なく、昨年度の4種目優勝のような派手な活躍はなくあまり目立ちませんでした。着実に入賞数を確保することができました。委員長としては、少し物足りない面もありましたが、充実した5日間でした。

国体においては、優勝はありませんでした。しかし1、2年生の活躍があり、来年度への期待が高まりました。

また、U18日本選手権では男女800mでの中京大中京高校の鳥井選手、細井選手がアベック優勝をしました。来年度の三重総体での活躍が非常に楽しみです。その他にも多くの入賞者が出ました。こちらでもU18世代の活躍がありましたので、来年度に向けて大いなる期待が持てました。

東海新人大会は新装なった三重県スポーツの杜伊勢陸上競技場で開催されました。あいにくの天候で2日目は短縮されて行なわれました。雨と寒さで選手には大変な大会になってしまいました。その中でも選手は大いに活躍してくれました。来年度の東海総体もこの競技場で実施をされます。愛知県としてしっかりと結果が出せるように頑張っていきたいと思っております。

愛知県高校駅伝も皆さま方のご協力のもと、男子は参加85校の頂点に豊川高校がつかしました。女子は光ヶ丘高校が初優勝し、都大路の全国大会への切符を手に入れました。最終区まで豊川高校とデッドヒートを繰り広げ、内容のあるレースであったと思います。参加校数は59校でした。両校とも持てる力を十分に発揮し、晴れの代表校を勝ち取りました。本年度は記念大会ではないため、地区代表枠がありません。この2校のみが愛知県代表です。両校とも愛知県「22」のナンバーカードで全国優勝を目指し、活躍されることを大いに期待します。

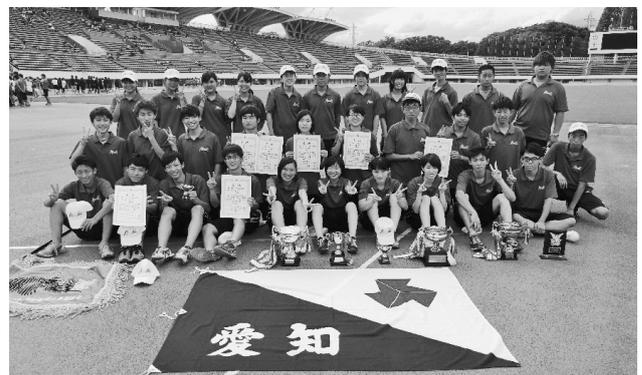
運営については、本年度も万全の準備を済ませ、大会運営に臨みました。競技役員の方々の欠席や辞退によるやり繰りが大変ではありましたが、なんとか無事に終了することができました。知多市、知多警察署、知多市教育委員会、知多三四会をはじめ、多くの皆様のご協力に心から感謝をいたします。

来年度の全国総体は地元東海地区の三重県で行なわれま。本年度は昨年度と同数の過去最高の参加者を派遣することができました。この数の維持と多数の入賞を目標に、陸協強化委員会とも協力をしながら努力をしていきたいと思っております。大会結果等は競技会結果報告をご参照ください。(石井 哲郎)

高体連定通部

全国高等学校定通制陸上 男女総合3連覇!

～愛知の力は今年も健在～



今年もまとまりのあるチームでした! ありがとう!!

前号で全国大会について「総合力はやや劣ると思われる」と記しました。それは男女総合優勝を果たしたこの2年に比べ、主力が抜けた今年は他県と接戦になるであろうと予想していたからです。しかし、終わってみれば今年も愛知県の強さが際立った全国大会となりました。17年ぶり13回目の「男子総合優勝」、4年連続18回目の「女子総合優勝」、3年連続22回目の「男女総合優勝」を果たし、約束通り愛知に賜杯を持ち帰ることができました。初日から愛知県選手は期待どおりの結果を出すばかりでなく、入賞は難しいと見られていた選手がポイントを重ねるなど大舞台での強さも発揮した結果です。

個人では800m、3000mで2年連続2種目制覇の小林利江(愛知黎明2)が大会最優秀選手、男子400m、400mH、4×400mRの3種目を制した杉山尚槻(豊橋3)が優秀選手に選出されました。

男女の4×100mRは優勝こそできませんでした。愛知県としては過去最速タイムを更新する3位と2位。大会前の練習は合同練習と前日練習の計2回。優勝を目指し、

各選手と担当コーチがぎりぎりまで調整し、攻めのレースを行った結果です。今年も「チーム愛知」として伝統のチームワークの良さが十分に発揮されたと思います。

愛知県が好結果を得られる要因の一つに先輩達やこれまで携わった先生方が築き上げた歴史と勝者のメンタリティがあります。その土台があるからこそ自信を持って全国大会に挑み、戦うことができるのだと思います。諸先輩方に感謝をするとともに、いまでも身近で支えてくれる多くの方々に感謝の気持ちを表し、競技を続けてほしいと願っています。

最後にご支援をいただいた陸協関係の皆様がこの場をお借りして御礼申し上げます。(野口 武則)

学連

記録と記憶に残る2017年トラックシーズン

2017年トラックシーズンは、日本のスポーツ界としても歴史的な偉業になったのではないだろうか。先に行われた世界陸上ロンドン大会で銅メダルを獲得した男子400mRのメンバーには、桐生祥秀選手(東洋大)と多田修平選手(関西大)が含まれており、学生陸上競技界としても彼らの争いは話題となっていた。桐生選手と多田選手の日本人初9秒台争いは、陸上競技関係者はもちろん、日本中から注目されていたであろう。

今年の日本インカレは、福井県を舞台に学生日本一を目指すアスリートの戦いが繰り広げられた。大会2日目、競技場ホームストレート側は常時2m以上の追い風が吹いており、男子100m決勝は新記録の誕生が期待されながらも公認記録にならないのでは?と心配もされていた。決勝のスタート時間を迎えた競技場内は、歴史的瞬間を見ようという観衆でスタンド一面が埋め尽くされており、日本インカレとしては異例の集客数であった。フィニッシュ地点には、TVカメラと記者がその瞬間を逃すまいと陣取中、レースはスタート。中盤から先頭に立った桐生選手は、多田選手のみならず他の選手を圧倒する走りで見事10秒の壁を破り9秒98の日本新記録・日本学生新記録を樹立した。心配された風速は+1.8の公認であった。

大会前、期間中も男子100m中心のインカレのような印象であったが、他の種目においても好記録が続出した。特に東海地区のアスリートの活躍は、目を見張るものであった。今シーズン、東海学生記録を更新した小林紗矢香選手(愛知教育大)が100mHで2連覇、女子10000mWでは五藤玲奈選手(中部学院大)が4連覇を達成した。男子では走高跳の赤松諒一選手(岐阜大)が2年ぶり2回目の優勝、棒高跳の鈴木康太選手(中京大)が大会記録を更新し2連覇を達成した。

有能な高校生が関東や関西地区の大学に進学するため、東海地区の学生競技レベルの低下が懸念されているが、これまで多くのオリンピックが学生時代に東海地区で活躍している実績もある。競技環境の整備、競技会運営の改革など、学連として着手すべき課題は山積ではあるが、短期・長期的な計画のもと強化と普及活動に取り組んでいきたい。(黒須 雅弘)

実業団

トラックシーズンは、大会として、9月末の全日本実業

団、10月上旬の国体をもってほぼ終了しました。

結果としては、全日本実業団においては、男子では棒高跳の山本聖途選手(トヨタ自動車)が5m60で、また走高跳の道脇大斗選手(東山小教)が2m15でそれぞれ優勝しました。女子では、800m・1500mのアン・カレンジ選手(豊田自動織機)が2種目で優勝、5000mの福田有以選手(豊田自動織機)が日本人トップの15分20秒11で3位と活躍しました。

また、国体において円盤投の湯上剛輝選手(トヨタ自動車)が大会新の59m24(日本歴代4位)で優勝、全日本実業団では58m27で第2位と確実に力を付けています。2018年度は日本記録をぜひ更新していただきたいと思います。



湯上選手国体大会新で優勝

これからは、駅伝シーズンが始まります。男子ではトヨタ自動車、トヨタ紡織、愛知製鋼、愛三工業、トーエネックの活躍に期待。女子では、昨年全日本実業団女子駅伝にて失格の豊田自動織機の奮起に期待します。

最後に、2020年の東京五輪に向け、実業団としても選手強化を図り、1人でも多くのオリンピック選手を送り出せるように、東京五輪までの期間を大切に過ごしていきたいと思います。(中村 博之)

マスターズ陸上



今年も大活躍の愛知県選手団

2017年10月1日(日)滋賀県野洲市の希望が丘文化公園で、第30回都道府県対抗駅伝全日本マスターズ駅伝競走大会が、秋晴れのもと行なわれました。男子の部は愛知県が2連覇を達成、女子の部とエルダーの部はどちらも4位と、愛知県チームの活躍が目立った大会となりました。

男子の部は、21都道府県から24チーム(OP1チーム含)が参加し、1区:尾田賢典選手がトップと11秒差の3位で襷を渡し、2区:下川勝彦選手が区間賞の走りでもトップに立ち、3区:村瀬裕之選手が2位で襷を渡し、4区:江本悟司選手が区間賞の走りでも再びトップに立ち、5区:近藤直樹選手、6区:高林祐介選手が力走し、2位長野県に1分57秒と、2分近い大差をつけての優勝でした。

女子の部は、1区:中島えりか選手が初の駅伝参加でプレッシャーの中、アップダウンと芝生のコースに苦戦しながらも14位で襷を繋ぎ、その後は2区:中山淳子選手が区間3位、3区:長坂恵子選手が区間2位、4区:下川友

美選手が区間3位の走りで順調に襷を繋ぎました。そしてアンカーの5区：成瀬 優選手は区間賞の走りで5位から一つ順位を上げ、更に3位に5秒差まで迫ったものの4位でゴールし入賞となりました。

そしてエルダーの部では、急遽4日前に選手交代となった1区：長尾典子選手が年代別の一つ若いクラスで走ったものの区間10位の走りで健闘。その後、襷を受け取った2区：帯山常行選手、3区：小早川和民選手、4区：東二三子選手、アンカーの5区：光村泰宏選手が確実に襷を繋ぎ、今年の10位から大きく順位を上げての4位入賞でした。

また、前日に開催された交流会にも全員が参加して、各県の皆様と楽しく交流を図ることができ、楽しい二日間を過ごす事ができました。

今回の全国大会は、2018年11月18日(日)愛・地球博記念公園(モリコロパーク)で行なわれます。地元開催ということもあり、来年は更にパワーアップして臨みたいと思っています。また、今大会の滋賀マスターズのおもてなしに負けないように、次回大会は愛知マスターズとしても他県から参加して下さる選手の皆様に喜んでもらえるよう頑張りたいと思います。(永山 宏智)

OB・OG会

秋も一段と深まった11月9日、愛知陸協OB・OG会研修事業を開催しました。今回は日本古典文化の鑑賞とし、稲垣隆司愛知陸協会長も含め31名の参加で行ないました。午後1時、大須の老舗和食店「やっこ」に集合。お店の創業は大正9年、現在の女将は高校女子指導者として一世を風靡した市邨高校の永田勝利先生の教え子とのこと。元気な女将に圧倒されながら、うな井に舌鼓を打ちました。昼食も早々に大須演芸場へ移動。開演の2時30分から終演まで落語に漫才、音曲バラエティーと大いに笑った2時間半でした。普段の生活でなかなか味わえない会員の皆さんとの一時でした。

今回は1月16日・17日の1泊2日で新年懇親会を、尾張地区で計画中です。



大須演芸場で開演前に

(水野 久)

競技会報告

2017 愛知陸上競技選手権大会
兼第60回東海陸上競技選手権大会予選会
兼第72回国民体育大会選手選考競技会
2017年7月15日(土)・17日(月) パロマ瑞穂スタジアム

男子

(GR：大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	若杉 俊佑 10.61 中京大	藤邊 光源 10.62 海陽中等教育	井上 脩吾 10.64 至学館大
200m	遠藤 侑汰 21.13 中京大	藤邊 光源 21.40 海陽中等教育	屋貝 博文 21.45 愛知陸協
400m	安井 一樹 48.64 小島プレス	金森 怜也 48.87 同志社大	市川 雄太 48.88 同志社大
800m	鳥居 風樹 1.51.22 中京大中京高	宇野 佑亮 1.53.03 岡崎城西高	馬場勇一郎 1.54.95 中京大中京高
1500m	川合 健太 4.01.11 順天堂大	伊藤 優汰 4.01.23 至学館大	酒井 拓欣 4.02.06 TPAC
110mH (1.067m)	古元 翼 14.21 中央大	岩瀬 累 14.43 名古屋大	14.49 吉村 健吾 愛知陸協 小久保翔太 日本生命
400mH (0.914m)	神谷 健 50.49 愛知学院大	小田 将矢 50.54 名古屋大	真野悠太郎 51.04 名古屋大
3000mSC (0.914m)	一瀬 達也 9.22.04 名古屋経済大	川瀬 勝寛 9.25.04 東海学園大	岡内 雅矢 9.27.36 中京大中京高
5000mW	持田 颯人 20.50.59 同志社大	戸松 弘成 20.52.67 愛知教育大	鈴木 智大 20.58.77 明和高
走高跳	藤森 俊秀 2.17 筑波大	水谷 来 2.14 中京大	道脇 大斗 2.11 OBUエニスポ
棒高跳	榎 将太 5.05 中京大	石川 拓磨 5.00 中京大	加藤 綾太 4.70 豊川高
走幅跳	東 孝一 7.47 小島プレス	木村 友紀 7.32 愛知陸協	渡邊圭一郎 7.30 トヨタ自動車
三段跳	木村 友紀 14.78 愛知陸協	加藤 準也 14.71 法政大	伊藤 裕也 14.68 名古屋大
砲丸投 (7.260kg)	石井 健史 14.90 三菱重工名古屋	白藤 聖陽 14.63 日本大	江崎 亮人 14.43 日本大
円盤投 (2.000kg)	杵本 裕貴 46.14 関西学院大	中井 康二 43.44 中京大	白田 雅治 43.22 岡山大
ハンマー投 (7.260kg)	墨 訓熙 68.54 中京大	久保 浩司 64.35 中京大クラブ	古旗 崇裕 61.43 中京大
やり投 (0.800kg)	坂本 達哉 75.58 GR 大阪体育大	八木 一憲 70.95 みかん山	藤垣 諒 66.44 至学館大

最優秀選手 坂本 達哉 (大阪体育大)

女子

(GR：大会新 PHR：県高校新)

種目	1位	2位	3位
100m	杉山 美貴 11.86 中京大	長谷川愛樹 12.10 中京大中京高	高須 鮎香 12.16 中京大中京高
200m	柴山沙也香 24.12 GR 大阪成蹊大	吉田 紗弓 24.26 立命館大	久野 なつ 24.55 中京大中京高
400m	磯部 まみ 56.68 至学館高	伊藤 里帆 57.10 大阪成蹊大	鈴木 朱音 57.72 中京大中京高

800m	細井 衿菜 2.12.04 中京大中京高	大野 百花 2.15.10 至学館高	吉川 侑希 2.15.60 愛知教育大
1500m	原 舞奈 4.44.40 豊橋東高	豊永 香音 4.44.65 中京大	小笠原安香音 4.45.27 安城学園高
100mH (0.838m)	小林紗矢香 13.61 GR 愛知教育大	安達 楓恋 14.03 中京大中京高	藤原 涼花 14.04 至学館大
400mH (0.762m)	長屋 美月 1.01.06 中京大	北野 有紀 1.01.09 愛知教育大	大谷友梨恵 1.02.13 加藤建設
3000mSC (0.762m)	後藤 梨奈 11.10.07 中京大	竹嶋 央后 11.30.55 中京大	森崎 綾乃 11.31.89 豊明高
5000mW	深水 梨保 24.41.92 至学館大	中川 晴子 25.01.74 名古屋大	鈴木 紫陽 25.38.49 豊橋東高
走高跳	中西 美早 1.71 日本女子体大	兼川 乃衣 1.71 日本女子体大	小笠原早矢楓 1.68 安城学園高
棒高跳	今泉 友里 3.70 中京大	塩崎 泉 3.60 至学館高	3.40 加藤紗佳子 豊川高 佐藤 愛 中京大
走幅跳	中尾 優里 5.85 小島プレス	吉村 月乃 5.79 岡崎城西高	宮川 杏奈 5.79 三好高
三段跳	宮川 杏奈 12.66 PHR 三好高	糟谷 友里 12.41 中京大	加藤 早紀 12.09 光ヶ丘女子高
砲丸投 (4.000kg)	近藤 沙南 13.00 安城学園高	丹嶋あやめ 12.23 名城大附高	平野 葉菜 11.98 安城学園高
円盤投 (1.000kg)	徳岡 沙織 42.25 ウェーブ	川口 紅音 41.63 日本体育大	近藤 沙南 40.82 安城学園高
ハンマー投 (4.000kg)	大久保祥子 53.54 中京大	田口 優 51.72 中京大	能登 美幸 51.03 東京女子体大
やり投 (0.600kg)	中島 美穂 51.25 Red Orca	舘林 都美 51.10 至学館大	西山 育未 47.69 中京大クラブ

最優秀選手 杉山 美貴 (中京大)

第63回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会
兼第44回全日本中学校陸上競技選手権大会愛知県予選会
兼第72回国民体育大会選手選考競技会 (少年B・共通)
 2017年7月21日(金)・22日(土) パロマ瑞穂スタジアム

男子 (GR:大会新 HK:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	池田 駿大 12.16 春日井中部	浅井 駿輝 12.20 神の倉	香山 勇輝 12.30 東郷
2年 100m	山下 侑牙 11.70 竜海	西垣 拓音 11.98 扇台	湯浅 幸介 12.01 上郷
3年 100m	都築 奨一 11.46 羽田	鈴木 大河 11.48 扇台	小松健太郎 11.50 富士
200m	都築 奨一 22.72 HK 羽田	河田 航典 22.75 HK 古知野	小松健太郎 22.88 富士
400m	稲川 慧亮 51.52 HK 富士	村瀬 俊哉 52.20 羽田	菅沼 玲央 52.46 豊橋東部
800m	片山 宗哉 1.59.99 HK 城北	中野 倫希 2.01.21 山田	深津希瑠亜 2.01.87 末野原
1年 1500m	松井 寛翔 4.32.71 逢妻	古橋 希翁 4.35.10 弥富	大岩 蓮 4.37.47 東港
1500m	後藤 謙昌 4.00.73 HK 翔南	片山 宗哉 4.01.00 HK 城北	伊藤 秀悟 4.06.10 HK 雁が音
3000m	吉居 駿恭 8.54.34 HK 田原東部	鶴飼 雄矢 8.55.61 HK 一宮南部	安藤 圭佑 8.56.45 HK 豊川東部

110mH (0.914m)	鈴木 大河 14.43 GR HK 扇台	加藤 雅大 14.97 HK 吉良	伊藤 瑞希 15.27 高師台
4×100mR	扇台 43.38 GR 小島 秀斗 西垣 拓音 鈴木 大河 吉田壮一郎	青陵 44.02 河合 嶺我 岩竹 駿 加藤 大樹 小嶋 暁	古知野A 44.56 一柳 康太 末富 涼介 橋本 健司 河田 航典
走高跳	羽根田僚太 1.91 HK 朝日丘	森 涉馬 1.88 HK 東海	清水 源樹 1.85 HK 六ツ美北
棒高跳	水谷 翼 4.00 HK 佐織西	松嶋 愛太 3.70 六ツ美北	井石 和真 3.50 宮田
走幅跳	杉浦 天斗 6.61 HK 高橋	新垣 颯斗 6.59 HK 豊川東部	末富 涼介 6.51 古知野
砲丸投 (5.000kg)	加藤 翼 12.83 名古屋北	古郡 駿一 12.74 猪高	高橋 諒 12.71 大高
四種競技	井平 匠海 2384 三好丘	粟原 佑磨 2291 高蔵寺	河登 新太 2192 柏原

女子 (GR:大会新 PJH:県中新 HK:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	土居 幸愛 12.70 竜海	森山 夢菜 13.17 豊橋南陽	北田野々花 13.23 岡崎北
2年 100m	倉橋 美穂 12.70 上郷	須崎 心優 12.84 御幸山	岩月 遥 12.85 本郷
3年 100m	竹川 綾乃 12.72 青陵	谷口 琴音 12.93 甲山	大嶋 紗弥 12.97 安城北
200m	土居 幸愛 25.37 HK 竜海	濱山 瑞希 25.59 HK 安城北	竹川 綾乃 25.62 HK 青陵
800m	川島 実桜 2.16.03 HK 高師台	星川 茉鈴 2.16.21 HK 大和南	森 乙葉 2.16.26 HK 浄水
1500m	阪井 空 4.38.98 水無瀬	渡辺 萌梨 4.45.00 六ツ美北	石川 瑠菜 4.46.34 吉良
100mH (0.762m)	松本佳音彩 14.73 HK 上社	鏡味 咲耶 14.83 知多東部	大島 由夏 14.85 小坂井
4×100mR	竜海 49.46 高野 景子 土居 心愛 手島 美咲 土居 幸愛	上郷 49.56 黒野 唯奈 倉橋 美穂 久野 香奈 沖 美月	御幸山 49.91 伊東 七穂 小出 亜弥 竹居明佳里 須崎 心優
走高跳	横山こころ 1.63 HK 高師台	石田 琴巳 1.60 HK 葵中	齋藤みゆに 1.60 HK 北陵
棒高跳 (オープン)	佐藤 涼帆 2.50 御幸山	中垣 音衣 2.50 鶴城	渡邊 万巴 2.30 守山
走幅跳	加藤 彩也 5.54 HK 豊川西部	浅井 美和 5.41 城北	高橋 好波 5.37 東郷
砲丸投 (2.721kg)	中島 彩瑛 13.68 HK 御幸山	岩田やえの 12.24 守山東	河端 藍子 12.09 大高
四種競技	池田 汐李 2839 PJH GR HK 柏原	伊藤 凜乃 2692 HK 味美	白鳥 百花 2687 HK 石尾台

第71回愛知県中学校総合体育大会陸上競技大会
 2017年7月27日(木)・28日(金) パロマ瑞穂スタジアム

男子 (GR:大会新 PJH:県中新 HK:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	池田 駿大 11.93 春日井中部	浅井 駿輝 12.03 神の倉	香山 勇輝 12.05 東郷

2年 100m	山下 侑牙 11.41 竜海	西垣 拓音 11.54 扇台	奥村 雄也 11.67 大府西
3年 100m	浦野 凱瑛 11.06 HK 豊岡	筒井 健人 11.33 福岡	澤 孝輔 11.37 松平
200m	深瀬 京佑 22.65 HK 岡崎東海	小松健太郎 22.82 富士	岩竹 駿 22.95 青陵
400m	近藤 工雅 50.52 GR HK 高橋	稲川 慧亮 50.69 HK 富士	加藤 大樹 51.48 HK 青陵
800m	片山 宗哉 1.58.62 HK 城北	間瀬 維温 1.59.77 HK 神丘	深津希瑠亜 2.00.59 末野原
1年 1500m	松井 寛翔 4.27.10 逢妻	阿知和優汰 4.31.80 横須賀	金田 健慎 4.33.04 豊橋中部
2年 1500m	吉居 駿恭 4.12.06 田原東部	加藤 太一 4.18.54 城山	鈴木 将矢 4.18.62 逢妻
3年 1500m	後藤 謙昌 4.02.18 HK 翔南	柏木 那央 4.05.17 HK 一宮中部	白井 勇佑 4.05.67 HK 田原東部
3000m	鶴飼 雄矢 8.53.98 GR HK 一宮南部	小林 亮太 8.55.95 GR HK 竜海	三芳 源 9.14.70 千種
110mH (0.914m)	鈴木 大河 14.13 GR PJH HK 扇台	加藤 雅大 15.07 吉良	伊藤 瑞希 15.20 高師台
4×100mR	扇台 43.13 GR 小島 秀斗 西垣 拓音 鈴木 大河 吉田壮一郎	青陵 43.39 GR 河合 嶺我 小嶋 暁 加藤 大樹 岩竹 駿	古知野 44.02 一柳 康太 末富 涼介 橋本 健司 河田 航典
低学年 4×100mR	古知野 46.29 GR 加藤 健斗 岡副 周平 日比野一翔 高田圭士郎	扇台 46.51 GR 安田 零唯 伊藤 大翔 丹羽 皓星 稲垣 良行	矢作 46.92 伊藤 圭吾 高橋 諒 久野 晴也 松本 拓斗
走高跳	清水 源樹 1.88 HK 六ツ美北	1.85 HK 森 涉馬 東海 羽根田僚太 朝日丘	
棒高跳	松嶋 愛太 3.80 六ツ美北	3.60 佐宗 登一 羽田 井石 和真 宮田	
走幅跳	安田 雄咲 6.71 HK 東浦北部	末富 涼介 6.59 HK 古知野	浅井 夏輝 6.53 河合
砲丸投 (5.000kg)	中川 拓真 13.80 HK 豊橋東陵	古郡 駿一 12.84 猪高	加藤 隆至 12.59 北陵
四種競技 (オープン)	井平 匠海 2272 三好丘	栗原 佑磨 2200 高蔵寺	河登 新太 2164 柏原

女子 (GR:大会新 PJH:県中新 HK:標準記録突破)

種目	1位	2位	3位
1年 100m	土居 幸愛 12.74 竜海	森山 夢菜 13.11 豊橋南陽	藤井 鈴奈 13.13 岡崎南
2年 100m	倉橋 美穂 12.47 HK 上郷	大矢 琴子 12.81 春日井中部	大城 莉夢 12.89 弥富
3年 100m	谷口 琴音 12.61 甲山	岸本 優花 12.84 葉栗	大嶋 紗弥 12.89 安城北
200m	竹川 綾乃 25.51 HK 青陵	濱山 瑞希 25.65 HK 安城北	大井 サラ 26.24 名古屋国際学園

1年 800m	田島 愛梨 2.21.64 横須賀	谷口 晴菜 2.22.12 新香山	山川 紗季 2.22.28 幸田
800m	澤 美羽 2.16.07 HK 長久手南	山田るうか 2.16.28 HK 葵	山田 晴華 2.16.49 HK 日進西
1500m	太田 帆香 4.42.70 布袋	渡辺 萌梨 4.43.07 六ツ美北	山田 涼雅 4.43.20 横須賀
100mH (0.762m/8m)	池田 汐李 14.28 GR HK 柏原	松本佳音彩 14.35 GR HK 上社	伊藤 凜乃 14.54 HK 味美
4×100mR	竜海 49.01 高野 景子 土居 心愛 手島 美咲 土居 幸愛	御幸山 49.46 伊東 七穂 小出 亜弥 竹居明佳里 須崎 心優	はとり 49.93 春日 亜子 川端 祐奈 伊藤エスタ 虹海 三輪 紗穂
低学年 4×100mR	田原 51.94 森下 汐里 田中 愛彩 富田 夏帆 林 きらり	田原東部 52.32 井筒 らな 菅沼 瑠璃 仲井 千尋 鈴木 捺稀	日進西 52.34 栴井 琴美 近藤 世歩 花井 瑞歩 小幡 胡実
走高跳	横山こころ 1.63 HK 高師台	渡邊 深友 1.60 HK 朝日丘	石田 琴巳 1.60 HK 葵
走幅跳	加藤 彩也 5.40 豊川西部	浅井 美和 5.31 城北	柴田 菜那 5.28 岩倉南部
砲丸投 (2.721kg)	中島 彩瑛 13.84 HK 御幸山	中嶋日向子 12.30 尾西第二	河端 藍子 11.78 大高
四種競技 (オープン)	池田 汐李 2703 HK 柏原	白鳥 百花 2640 HK 石尾台	高嵩 桃花 2524 柏原

学校対抗総合順位

	1位	2位	3位
男子	扇台	古知野	田原東部
女子	竜海	御幸山	横須賀

平成29年度全国高等学校総合体育大会
秩父宮賜杯第70回全国高等学校陸上競技対校選手権大会
2017年7月29日(土)～8月2日(水) NDソフトスタジアム山形

男子

種目	順位	記録	選手名	学校名
100m	6	10.79	藤邊 光源	海陽学園
200m	7	21.40	藤邊 光源	海陽学園
800m	7	1.52.27	鳥居 風樹	中京大中京
	8	1.55.04	宇野 佑亮	岡崎城西
5000mW	2	20.29.93	鈴木 智大	明和
走幅跳	7	7.14	磯部晃太郎	津島東
	8	7.12	中野 裕仁	名城大附

女子

種目	順位	記録	選手名	学校名
100m	8	12.44	長谷川愛樹	中京大中京
400m	4	55.47	片山 菜里	岡崎城西
800m	6	2.11.06	細井 裕菜	中京大中京

800m	8	2.14.23	相場 里咲	豊橋南
4×100mR	1	45.48	高須 鮎香	中京大中京
			久野 なつ	
			天神 綾音	
			長谷川愛樹	
走高跳	7	1.68	伊藤 桃子	中京大中京
棒高跳	3	3.80	水上 真里	岡崎城西
	5	3.70	塩崎 泉	至学館
三段跳	2	12.70	宮川 杏奈	三好
	7	12.33	都築 陽奈	三好
円盤投	7	42.90	平野 優花	愛知黎明
ハンマー投	7	49.54	平野 優花	愛知黎明

トラック得点：8位 中京大中京 12点

フィールド得点：5位 三好 9点

都道府県対抗：5位 42.5点

第39回東海中学校総合体育大会陸上競技大会

2017年8月10日(木) 小笠山総合運動公園静岡スタジアムエコパ

男子

(GR：大会新)

種目	順位	記録	選手名	学校名	
3年100m	3	11.16	筒井 健人	福岡	
400m	2	50.74	加藤 大樹	青陵	
800m	2	1.59.74	片山 宗哉	城北	
	3	2.01.25	間瀬 維温	神丘	
1年1500m	3	4.33.76	松井 寛翔	逢妻	
2年1500m	1	4.08.60	吉居 駿恭	田原東部	
	3	4.19.42	鈴木 将矢	逢妻	
3年1500m	1	4.02.94 GR	後藤 謙昌	翔南	
3000m	1	8.59.40	鶴飼 雄矢	一宮南部	
	3	9.01.21	小林 亮太	竜海	
低学年 4×100mR	3	46.91	加藤 健斗	古知野	
			岡副 周平		
			日比野一翔		
			高田圭士郎		
4×100mR	1	43.67	河合 嶺我	青陵	
			小嶋 暁		
			加藤 大樹		
			岩竹 駿		
	2	44.24	44.24	大島 伊織	富士
				稲川 慧亮	
				五十嵐勇都	
				小松健太郎	
3	44.28	44.28	小島 秀斗	扇台	
			西垣 拓音		
			水野 絢心		
			吉田壮一郎		

走高跳	2	1.88	羽根田僚太	朝日丘
棒高跳	3	4.10	水谷 翼	佐織西
走幅跳	1	6.65	杉浦 天斗	高橋
	2	6.56	浅井 夏輝	河合
砲丸投	3	13.56	中川 拓真	豊橋東陵

女子

種目	順位	記録	選手名	学校名
1年100m	1	12.57	土居 幸愛	竜海
	3	12.98	森山 夢菜	豊橋南陽
2年100m	1	12.35	倉橋 美穂	上郷
3年100m	3	12.55	谷口 琴音	甲山
200m	2	25.30	竹川 綾乃	青陵
	3	25.35	濱山 瑞希	安城北
800m	1	2.17.35	山田るうか	葵
	2	2.18.13	森 乙葉	浄水
	3	2.18.95	山田 晴華	日進西
1500m	3	4.40.26	太田 帆香	布袋
100mH	1	14.32	松本佳音彩	上社
	2	14.36	池田 汐李	柏原
	3	14.43	伊藤 凛乃	味美
4×100mR	3	50.01	伊東 七穂 小出 亜弥 竹居明佳里 須崎 心優	御幸山
走高跳	1	1.55	横山こころ	高師台
	3	1.55	渡邊 深友	朝日丘
砲丸投	2	13.69	中島 彩瑛	御幸山

第52回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会

2017年8月11日(金)～13日(日) 駒沢オリンピック公園陸上競技場

男子

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	4	稲垣 滉喜	科技刈谷	11.34
	5	大木 皓資	科技刈谷	11.35
200m	5	大木 皓資	科技刈谷	23.00
	6	稲垣 滉喜	科技刈谷	23.08
400m	1	杉山 尚槻	豊橋・昼	53.15
	5	山下 航生	科技刈谷	54.46
	8	山下 涼太	科技刈谷	55.24
800m	5	片岡 宏介	科技刈谷	2.06.94
1500m	6	神谷 悠斗	科技刈谷	4.24.68
400mH	1	杉山 尚槻	豊橋・昼	58.23
	2	山下 涼太	科技刈谷	1.01.39
	6	橋本 陸馬	科技刈谷	1.03.88

3000mSC	6	大曾根魁志	科技刈谷	10.54.32
4×100mR	3	清水、大木、稲垣、小久保(選抜)		43.71
4×400mR	1	山下航、川畑、山下涼、杉山(選抜)		3.31.08
走幅跳	2	大塚 雅也	科技刈谷	6.26
	7	角田 侑哉	科技刈谷	5.85
	8	夏目 充裕	豊橋・昼	5.84
三段跳	7	久保ニコラス	小牧	11.69
砲丸投	5	吉原 悠登	古知野	11.83
	6	岡枝アラン	名南工	11.47
円盤投	3	中垣内大貴	名南工	35.02
	5	岡枝アラン	名南工	32.35

800m	6	1.59.69	間瀬 維温	神丘
	7	2.02.42	深津希瑠亜	末野原
1500m	2	3.57.81	後藤 謙昌	翔南
110mH	1	14.02	鈴木 大河	扇台
4×100mR	3	42.78	小島 秀斗	扇台
			西垣 拓音	
			鈴木 大河	
			吉田壮一郎	

女子

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	4	齋藤 美佳	科技刈谷	13.59
	6	ハイムンド・チエミ	小牧	13.97
200m	3	齋藤 美佳	科技刈谷	28.15
	7	山田 結月	古知野	29.40
400m	2	濱野 那佳	科技刈谷	1.07.47
	3	高須 優芽	科技刈谷	1.08.59
800m	1	小林 利江	愛知黎明	2.28.30
	4	高須 優芽	科技刈谷	2.38.69
	6	濱野 那佳	科技刈谷	2.43.30
3000m	1	小林 利江	愛知黎明	10.31.90
100mH	7	春田玲穂奈	一宮	18.77
4×100mR	2	山田、ハイムンド、齋藤、春田(選抜)		53.40
走高跳	2	田中 里恵瑠	一色	1.46
	7	宮原 桃那	豊橋・昼	1.25
走幅跳	3	ハイムンド・チエミ	小牧	4.41

男女総合：優勝 182点 (3年連続 22回目の優勝)
 男子総合：優勝 103点 (17年ぶり 13回目の優勝)
 男子トラックの部：優勝 74点
 男子フィールドの部：3位 29点
 女子総合：優勝 79点 (4年連続 18回目の優勝)
 女子トラックの部：優勝 64点
 女子フィールドの部：2位 15点
 女子最優秀選手：小林利江 (愛知黎明)
 (2年連続 2回目の受賞)
 男子優秀選手：杉山 尚槻 (豊橋・昼)

女子

種目	順位	記録	選手名	学校名
100mH	8	14.35	松本佳音彩	上社
4×100mR	1	48.69	高野 景子	竜海
			土居 心愛	
			手島 美咲	
			土居 幸愛	
走高跳	8	1.63	横山こころ	高師台
四種競技	7	2774	池田 汐李	柏原
	8	2760	齋藤みゆに	北陵

第60回東海陸上競技選手権大会
 2017年8月26日(土)・27日(日) 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

男子

(GR：大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
400m	1	屋貝 博文	愛知陸協	47.00
	3	金森 怜也	同志社大	47.21
800m	1	鳥居 風樹	中京大中京高	1.53.52
	3	伊藤 壮太	中京大	1.55.13
5000m	1	中西 玄気	愛三工業	14.34.97
10000m	1	鈴木 洋平	愛三工業	30.31.81
	3	河村 悠	豊明高	31.58.72
110mH	3	吉村 健吾	愛知陸協	14.45
400mH	2	神谷 健	愛知学院大	51.69
	3	大澤 京介	中京大	51.81
3000mSC	3	一瀬 達也	名経大高蔵高	9.24.90
5000mW	1	戸松 弘成	愛知教育大	20.56.54
	2	杉本 明洋	merclaire	21.17.50
	3	江藤 慎改	至学館大	21.21.99
4×400mR	1	伊藤 壮太	中京大	3.12.24 GR
		遠藤 侑汰		
		岡田 直也		
		祖父 江巧		
	2	三田 大喜	中京大中京高	3.13.33
		高橋 舞羽		
		杉野 蒼太		
		鳥居 風樹		

第44回全日本中学校陸上競技選手権大会
 2017年8月20日(日)～22日(火)
 熊本県民総合運動公園陸上競技場 えがお健康スタジアム

男子

種目	順位	記録	選手名	学校名
100m	5	11.02	浦野 凱瑛	豊岡
800m	2	1.57.59	片山 宗哉	城北

走高跳	2	道脇 大斗	OBUエニスポ	2.16
	3	水谷 来	中京大	2.13
棒高跳	1	石川 拓磨	中京大	5.30
走幅跳	2	二宮 聡史	愛知教育大	7.42
砲丸投	3	石井 健史	三菱重工名古屋	14.85
	1	湯上 剛輝	トヨタ自動車	56.57
円盤投	3	杵本 裕貴	関西学院大	47.01
	2	古旗 崇裕	中京大	62.04
やり投	1	八木 一憲	みかん山	69.68
	3	藤垣 諒	至学館大	68.18

女子 (GR:大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	3	長谷川愛樹	中京大中京高	12.17
800m	1	細井 衿菜	中京大中京高	2.09.59
	2	井上 葉南	至学館高	2.10.22
1500m	1	原 舞奈	豊橋東高	4.34.03
	3	村上 弓月	豊明高	4.37.98
100mH	1	小林紗矢香	愛知教育大	13.55 GR
400mH	2	北野 有紀	愛知教育大	1.00.42
	3	長屋 美月	中京大	1.01.23
3000mSC	1	神谷 もも	愛知教育大	10.57.05
	2	森崎 綾乃	豊明高	11.07.17
	3	後藤 梨奈	中京大	11.09.00
4×100mR	1	野村 真由	至学館大	46.75
		加藤 桃佳		
		白田菜々美		
		水野 瑛梨		
	2	柴崎 五月	中京大中京高	46.77
		久野 なつ		
		天神 綾音		
		長谷川愛樹		
4×400mR	1	山田真梨子	中京大中京高	3.49.27
		三輪 未来		
		生田奈緒子		
		細井 衿菜		
走高跳	2	小笠原早矢楓	安城学園高	1.68
走幅跳	1	石原 薫子	中京大	5.88
	3	中尾 優里	小島プレス	5.64
三段跳	1	都築 陽奈	三好高	12.34
	2	宮川 杏奈	三好高	12.25
	3	糟谷 友里	中京大	12.15
砲丸投	1	近藤 沙南	安城学園高	13.38
円盤投	1	近藤 沙南	安城学園高	43.01
	2	牧 亜香里	中京大	40.57
	3	平野 優花	愛知黎明高	40.34
ハンマー投	3	田口 優	中京大	52.62

第34回東海小学生リレー競技大会
兼第3回東海小学生陸上競技大会
 2017年8月26日(土)・27日(日) 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

男子 (1位のみ) (GR:大会新)

種目	氏名	所属	記録
80mH	早川 耀統	TSM	12.72
4×100mR	山本 琉誠	豊橋陸上クラブ	52.43
	大場 万央		
	渡辺 翔大		
	寺下 頼檜		
走高跳	大谷 一惺	JAC あつみ	1.41 GR
走幅跳	外山 晏気	豊川 AC	4.67

女子 (1位のみ) (=GR:大会タイ)

種目	氏名	所属	記録
6年100m	伊藤 千夏	田原陸上クラブ	13.69
80mH	河合 姫星	JAC あつみ	13.15
4×100mR	新家あさひ	安城 JAC	53.27
	比嘉 波音		
	松浦 加奈		
	川口 莉絆		
走高跳	西住 咲重	JAC 武豊	1.30 =GR
走幅跳	松村 琴都	TSM	4.52
ジャバリックボール投	永柳 結都	JAC 武豊	42.79
友好100m	小川 奈菜	TSM	14.36

第38回愛知県ジュニアオリンピック競技大会
第48回ジュニアオリンピック陸上競技大会愛知選手選考会
 2017年9月10日(日) パロマ瑞穂スタジアム

(クラス:A…中3 B…中2 C…中1 PJR:県中学記録 HK:標準記録突破)

	種目	1位	2位	3位
男子A	100m	浦野 凱瑛 10.94 豊岡中	深瀬 京佑 11.20 岡崎東海中	筒井 健人 11.27 福岡中
	200m	吉田壮一郎 22.44 扇台中	加藤 大樹 22.63 青陵中	都築 奨一 22.68 羽田中
	3000m	小林 亮太 8.49.95 竜海中	安藤 圭佑 8.52.14 豊川東部中	鶴飼 雄矢 8.53.16 AC 一宮
	110mJH (0.991m)	鈴木 大河 14.68 PJR HK 扇台中	大島 伊織 15.52 富士中	加藤 雅大 16.11 吉良中
	砲丸投 (5.000kg)	中川 拓真 13.20 豊橋東陵中	富田 賢 12.76 豊川東部中	高橋 諒 12.57 大高中
	走高跳	羽根田僚太 1.85 朝日丘中	早川 颯 1.85 富士松中	伊藤 幹弥 1.85 古知野中
	男子B	100m	山下 侑牙 11.54 竜海中	奥村 雄也 11.71 大府西中
1500m		小倉 謙心 4.05.66 HK 豊橋南陽中	榊原 海斗 4.13.64 安城北中	高嶋 荘太 4.13.68 弥富中
110mYH (0.914m)		高橋 遼将 15.15 HK TSM	小柳津史也 15.33 石巻中	西 徹朗 15.64 猪高中

男子B	走幅跳	中島 海翔 6.36 HK 大府西中	加藤 隼輝 6.20 TSM	河登 新太 6.04 TSM
	砲丸投 (4.000kg)	半田 千空 12.86 守山西中	長嶋 流万 12.43 高蔵寺中	栗原 佑磨 12.41 TSM
男子C	100m	浅井 駿輝 11.98 神の倉中	池田 駿大 11.98 春日井中部中	香山 勇輝 12.20 東郷 AC
	1500m	松井 寛翔 4.19.52 HK 逢妻中	十河 拓平 4.24.38 HK 竜海中	平井 翼 4.26.64 TSM
	100mH (0.838m) (オープン)	加藤 信太 14.82 TSM	岩田 航輝 15.25 平坂中	岡副 周平 15.59 古知野中
	走幅跳	田中 瑛一 5.73 田原中	川口 遙己 5.35 武豊中	高橋 大地 5.22 なごや陸上
	砲丸投 (4.000kg) (オープン)	大沼 弘人 10.96 高蔵寺中	洞井 縁 9.44 知多中	金沢 耀 9.19 港南中
男子A B C 共通	棒高跳 (オープン)	水谷 翼 4.00 AC 一宮	松嶋 愛太 4.00 六ツ美北中	高原 賛多 3.60 鶴城中
	円盤投 (1.500kg)	上村 勇輝 36.68 TSM	橋本 友陽 35.57 港南中	吉村 宇翔 31.28 はとり中
男子B C 共通	ジャベリック スロー	大野 雄士 75.43 富士中	豊嶋 駿介 67.84 愛知陸協	筏井 理雄 62.73 豊国中
男子B C 共通	走高跳 (オープン)	田中 鉄馬 1.75 城北中	今井 駆 1.75 古知野中	
女子A	100m	谷口 琴音 12.53 甲山中	濱山 瑞希 12.79 安城北中	齋藤みゆに 12.80 北陵中
	200m	竹川 綾乃 25.88 青陵中	大井 サラ 25.95 TSM	澤 美羽 26.38 TSM
	3000m	渡辺 萌梨 9.53.22 六ツ美北中	太田 帆香 9.53.52 布袋中	永井 美希 10.13.64 豊川西部中
	100mYH (0.762m)	鏡味 咲耶 14.31 HK 知多東部中	池田 汐李 14.53 HK TSM	伊藤 凜乃 14.65 TSM
	走高跳	渡邊 深友 1.63 HK 朝日丘中	楢山奈津子 1.57 高針台中	横山こころ 1.54 豊橋陸上クラブ
	砲丸投 (4.000kg)	中島 彩瑛 11.01 御幸山中	白鳥 百花 10.42 TSM	岩田やえの 9.89 守山東中
女子B	100m	倉橋 美穂 12.61 上郷中	土居 心愛 12.68 竜海中	沖 美月 12.93 上郷中
	1500m	猪熊 紗伎 4.46.14 TSM	山田 涼雅 4.46.27 横須賀中	石川 瑠菜 4.47.86 吉良中
	100mJH (0.762m)	神田 彩名 14.66 HK TSM	服部明日風 14.87 HK 明祥中	野村穂菜美 15.12 TSM
	走幅跳	高嵩 桃花 5.40 HK TSM	柴田 業那 5.08 AC 一宮	伊藤まひろ 5.05 守山西中
	砲丸投 (2.721kg)	川本みちる 10.07 豊川東部中	井並 紗那 10.04 港南中	平岩 万実 9.83 守山中
女子C	100m	土居 幸愛 12.72 HK 竜海中	藤井 鈴奈 12.96 岡崎南中	中西百萌佳 12.99 TSM
	800m	北村 はる 2.19.07 野間中	田島 愛梨 2.19.78 横須賀中	澤田 理紗 2.20.89 阿久比中
	100mJH (0.762m) (オープン)	坂口 由花 15.98 TSM	佐野萌々春 16.08 豊川西部中	荒川 由奈 16.71 高浜南中
	走幅跳	小島 嘉恩 4.84 沢上中	内田 紫野 4.72 蒲郡中	山田 梨央 4.39 AC 一宮
	砲丸投 (2.721kg) (オープン)	小原 恵 10.24 大高中	井並 萌彩 9.09 港南中	田中 美海 8.44 岩津中

女子A B C 共通	棒高跳 (オープン)	佐藤 涼帆 2.50 御幸山中	渡邊 万巴 2.40 守山中	
	円盤投 (1.000kg)	中嶋日向子 31.99 尾西二中	村田 千遥 30.92 大高中	天野ユリヤ 30.72 TSM
	ジャベリック スロー	辻 萌々子 44.02 御幸山中	堀田 萌生 40.55 吉田方中	加藤 玲奈 37.40 大府中
女子B C 共通	走高跳 (オープン)	栗田 唯衣 1.59 豊川東部中	野村 美咲 1.56 福岡中	井上 萌美 1.53 逢妻中

第72回国民体育大会
2017年10月6日(金)～10日(火) 愛媛県総合運動公園陸上競技場

成年男子 (入賞のみ GR:大会新)

種目	順位	氏名	所属	記録
100m	6	長田 拓也	富士通	10.44
10000mW	7	及川 文隆	東洋大	42.08.76
走高跳	5	水谷 來	中京大	2.16
円盤投	1	湯上 剛輝	トヨタ自動車	59.24 GR

成年女子

種目	順位	氏名	所属	記録
100mH	7	小林紗矢香	愛知教育大	13.73

少年男子

種目	順位	氏名	所属	記録
A	100m	藤邊 光源	海陽学園中等	10.59
	400mH	伊奈 颯太	豊川高	52.76
	走幅跳	磯部晃太郎	津島東高	7.10
	やり投	藤井 瑞樹	名古屋大谷高	63.51
B	3000m	柳本 匡哉	豊川高	8.36.42
共通	5000mW	鈴木 智大	明和高	20.47.75

少年女子

種目	順位	氏名	所属	記録
A	400m	片山 栞里	岡崎城西高	55.18
B	100mH	安達 楓恋	中京大中京高	13.73
共通	棒高跳	水上 真里	岡崎城西高	3.75
	三段跳	宮川 杏奈	三好高	12.55 GR
	やり投	田中 友梨	至学館高	49.23

成少年女子

種目	順位	氏名	記録
4×100mR	6	高須 鮎香、杉山 美貴、長谷川愛樹、市川 華菜	46.22

男女総合(天皇杯): 9位(76点)

女子総合(皇后杯): 10位(40点)

平成29年度愛知県高等学校定時制通信制秋季体育大会
2017年10月8日(日) 知多運動公園陸上競技場

男子 (GR:大会新)(1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
100m	杉山 尚槻	豊橋昼	11.1 GR

200m	清水漱一郎	起工	24.4
400m	杉山 尚規	豊橋昼	51.8 GR
800m	伊藤 隼隆	科技刈谷	2.06.6
1500m	神谷 悠斗	科技刈谷	4.46.3
5000m	山本 空人	科技刈谷	18.29.8
400mH	山下 涼太	科技刈谷	1.00.5
3000mSC	大曾根魁志	科技刈谷	11.48.7
4×100mR	山本・橋本・金子・角田(科技刈谷)		47.0
4×400mR	細井・小田・太田・杉山(豊橋昼)		3.57.9
走高跳	光岡 義康	岡崎工	1.60
走幅跳	角田 侑哉	科技刈谷	6.10
三段跳	角田 侑哉	科技刈谷	12.08
砲丸投	岡枝アラン	名南工	11.24 GR
円盤投	岡枝アラン	名南工	36.57 GR
総合	科技刈谷		63点

女子 (1位のみ)

種目	氏名	校名	記録
100m	齋藤 美佳	科技刈谷	13.8
200m	齋藤 美佳	科技刈谷	28.6
400m	濱野 那佳	科技刈谷	1.08.8
800m	高須 優芽	科技刈谷	2.44.7
3000m	杉浦 由依	科技刈谷	14.04.8
100mH	岩田 果鈴	半田商	20.6
4×100mR	濱野・尾崎・杉浦・齋藤(科技刈谷)		59.8
走高跳	田中里恵瑠	一色	1.35
走幅跳	赤川 真白	起工	4.35
砲丸投	手嶋 茉星	一色	6.68
円盤投	豊田 晏慈	津島	13.91
総合	豊橋昼		46点

円盤投	4	平野 優花	愛知黎明高	42.20
ハンマー投	7	平野 栞菜	安城学園高	50.77

U18 男子

種目	順位	氏名	学校名	記録
800m	1	鳥居 風樹	中京大中京高	1.53.44
	7	筒井 航佑	時習館高	1.54.91
	8	馬場勇一郎	中京大中京高	1.55.71
400mH	2	伊奈 颯太	豊川高	53.29
棒高跳	2	増田 智也	中京大中京高	4.80
走幅跳	7	中野 裕仁	名城大附高	7.18
やり投	2	藤井 瑞樹	名古屋大谷高	65.10

U18 女子

種目	順位	氏名	学校名	記録
200m	4	井戸アビゲイル風果	至学館高	24.94
800m	1	細井 柰菜	中京大中京高	2.09.40
100mH	3	安達 楓恋	中京大中京高	13.69
4×100mR	6	高須 鮎香	中京大中京高	47.35
		天神 綾音		
		外園 愛梨		
		安達 楓恋		
4×100mR	8	大城 珠莉	至学館高	47.71
		都築 美音		
		小緑 由衣		
		井戸アビゲイル風果		
走高跳	1	小笠原早矢楓	安城学園高	1.70
三段跳	2	都築 陽奈	三好高	12.48
やり投	4	田中 友梨	至学館高	47.23

平成29年度愛知県高等学校新人体育大会陸上競技大会
2017年9月30日(土)・10月1日(日) パロマ瑞穂スタジアム

男子 (GR:大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	森 皓平 10.77 名古屋大谷	伊藤 彰海 10.85 名古屋	服部 匡恭 10.85 中京大中京
200m	森 皓平 21.78 名古屋大谷	遠藤 耕介 22.13 刈谷北	服部 匡恭 22.25 中京大中京
400m	野瀬 大輝 49.04 愛工大名電	三田 大喜 49.58 中京大中京	山内健太郎 49.59 豊橋東
800m	筒井 航佑 1.55.73 時習館	馬場勇一郎 1.56.18 中京大中京	平松 昂龍 1.56.79 岡崎城西
1500m	筒井 航佑 4.05.29 時習館	大岩 歩夢 4.05.86 愛知	渡邊 樹 4.06.28 愛工大名電
5000m	近藤幸太郎 14.50.34 豊川工	柏 優吾 14.51.92 豊川	脇田幸太郎 15.04.18 新城東
110mH (1.067m)	吉田 潤平 14.70 滝	岩堀 剛己 14.70 名古屋	小川 晃平 15.06 岡崎北
400mH (0.914m)	林 亮太 54.00 旭野	堀井 健史 54.52 千種	水野 里紀 54.97 豊川
3000mSC	岡内 雅矢 9.12.51 GR 中京大中京	伊藤 伶真 9.24.05 愛知	宇都木秀太 9.32.77 岡崎西

U20・U18 日本陸上競技選手権大会
2017年10月20日(金)～22日(日)
パロマ瑞穂スタジアム 本県8位入賞のみ

U20 男子

種目	順位	氏名	学校名	記録
400m	6	村木 渉真	早稲田大	48.04
800m	4	伊藤 壮太	中京大	1.54.35
	8	山田 翔雅	日本大	1.58.29

U20 女子

種目	順位	氏名	学校名	記録
400m	4	片山 栞里	岡崎城西高	55.13
100mH	4	古橋 佳奈	安城学園高	14.02
走高跳	3	菰田梨香子	安城学園高	1.65
		中西 美早	日本女子体育大	
三段跳	4	宮川 杏奈	三好高	12.45
円盤投	2	近藤 沙南	安城学園高	43.35
	3	川口 紅音	日本体育大	42.35

5000mW	小林 貫太 21.26.90 丹羽	大島 涼賀 22.15.59 一宮	梅本 崇弘 22.16.14 明和
4×100mR	愛工大名電 42.24 中西 琳哉 野瀬 大輝 成清 太綺 森 葵生	名古屋 42.29 伊藤 彰海 岩堀 剛己 加藤 敦詞 富田 泰理	中京大中京 42.48 清水 章吾 服部 匡恭 神谷 翔矢 富田 大智
4×400mR	中京大中京 3.19.27 服部 匡恭 富田 大智 中西 永樹 三田 大喜	岡崎城西 3.19.92 坂本 悠 藤井 裕也 岡本健太郎 中谷 竜麻	名古屋 3.21.63 西出 航大 岩堀 剛己 伊藤 彰海 加藤 敦詞
走高跳	木田 大晴 1.97 岡崎北	田中 日向 1.94 安城学園	宇野琳太郎 1.91 安城学園
棒高跳	増田 智也 4.70 中京大中京	榊原 圭悟 4.50 岡崎城西	4.20 藏地 唯斗 豊田工業高専 立松 昂也 名古屋南
走幅跳	中野 裕仁 7.39 GR 名城大附	松尾 健永 6.87 名古屋西	藤田 匠海 6.84 津島
三段跳	稲田 大空 14.10 安城学園	中村 優太 14.03 時習館	松山 志成 13.99 岡崎城西
砲丸投 (6.0kg)	春日井貴裕 13.86 市工芸	鈴木健太郎 13.13 名古屋大谷	高橋 慎吾 13.01 誠信
円盤投 (1.750kg)	光岡 奨平 41.32 安城学園	田中 尚弥 40.54 市工芸	佐々木秀斗 38.56 安城学園
ハンマー投 (6.0kg)	佐々木秀斗 56.06 安城学園	鈴木健太郎 49.97 名古屋大谷	光岡 奨平 46.60 安城学園
やり投 (800g)	仲谷 静真 55.41 渥美農	奥村 瑛健 54.20 名古屋南	松谷 武 53.99 至学館
総合	中京大中京 49	安城学園 41	名古屋大谷 28
トラック	中京大中京 37	愛工大名電 22	名古屋 22
フィールド	安城学園 41	市工芸 14	中京大中京 12

女子 (GR:大会新)

種目	1位	2位	3位
100m	天神 綾音 11.99 中京大中京	井戸アビゲイル風果 12.04 至学館	大城 珠莉 12.09 至学館
200m	井戸アビゲイル風果 24.79 至学館	大城 珠莉 24.97 至学館	天神 綾音 25.30 中京大中京
400m	山田真梨子 57.70 中京大中京	生田奈緒子 57.79 中京大中京	榊原 萌 57.84 三好
800m	相場 里咲 2.12.56 豊橋南	山田真梨子 2.16.01 中京大中京	吉田 彩乃 2.16.52 愛知
1500m	小笠原安香音 4.39.74 安城学園	村上 弓月 4.42.77 豊明	森崎 綾乃 4.43.78 豊明
3000m	村上 弓月 9.50.42 豊明	小笠原安香音 9.50.82 安城学園	国立 華蓮 9.52.62 至学館
100mH (0.840m)	西川 知沙 14.42 豊橋南	安藤 愛未 14.54 至学館	佐竹 里野 14.64 明和
400mH (0.762m)	三輪明日香 1.02.97 名城大附	岡戸 美月 1.03.55 名古屋大谷	蛭川 真未 1.03.62 阿久比
5000mW	神谷さくら 26.10.32 一宮西	上森 佳代 26.26.82 桜花学園	稲垣あかり 26.27.91 西春
4×100mR	至学館 48.01 都築 美音 大城 珠莉 田中 海来 井戸アビゲイル風果	中京大中京 48.16 富塚 郁々 天神 綾音 外園 愛梨 平松 紗季	岡崎城西 48.77 竹崎 郁乃 永井絵理香 山口こころ 田中 千尋
4×400mR	至学館 3.49.63 都築 美音 大城 珠莉 田中 海来 井戸アビゲイル風果	中京大中京 3.50.05 三輪 未来 平松 紗季 山田真梨子 生田奈緒子	瑞陵 3.59.42 浅井奈々子 新川 英 長谷部咲紀 小泉 満菜

走高跳	小笠原早矢楓 1.73 安城学園	千葉 玲央 1.64 岡崎城西	仲井 瑞紀 1.61 大府
棒高跳	塩崎 泉 3.60 GR 至学館	石田 果蓮 3.30 岡崎城西	浦津ななの 3.20 中京大中京
走幅跳	都築 陽奈 5.61 三好	小林はづき 5.58 時習館	平松 紗季 5.50 中京大中京
三段跳	都築 陽奈 12.39 GR 三好	平松 紗季 12.06 GR 中京大中京	田中 遥 11.49 安城学園
砲丸投 (4.0kg)	木村 飛実 11.42 至学館	鳥居 佑南 11.17 安城学園	平岩 志萌 11.06 旭野
円盤投 (1.0kg)	鳥居 佑南 35.31 安城学園	近藤 未空 34.01 安城学園	神谷 未来 33.85 小牧
ハンマー投 (4.0kg)	林 みなみ 43.48 一宮北	大久保春香 41.26 安城学園	猪飼 由奈 40.46 津島
やり投 (600g)	石垣 綾香 42.01 半田	江口 茜里 40.82 名古屋大谷	今本 夏鈴 38.21 藤ノ花女子
総合	至学館 60	安城学園 53	中京大中京 53
トラック	至学館 47	中京大中京 37	豊橋南 18
フィールド	安城学園 36	中京大中京 16	岡崎城西 15

第20回東海高等学校新人陸上競技選手権大会
平成29年10月28日(土)・29日(日) 三重交通Gスポーツの杜伊勢・陸上競技場

男子 (GR:大会新) (3位までの入賞分)

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	2	森 皓平	名古屋大谷	10.93
	3	遠藤 耕介	刈谷北	10.93
200m	1	森 皓平	名古屋大谷	21.91
400m	3	野瀬 大輝	愛工大名電	49.06
800m	1	馬場勇一郎	中京大中京	1.54.89
	2	筒井 航佑	時習館	1.54.96
1500m	1	筒井 航佑	時習館	4.02.25
	3	大岩 歩夢	愛知	4.03.49
5000m	3	脇田幸太郎	新城東	14.58.46
400mH	2	林 亮太	旭野	54.40
3000mSC	2	伊藤 伶真	愛知	9.26.15
	3	宇都木秀太	岡崎西	9.26.57
5000mW	2	小林 貫太	丹羽	21.05.10 GR
4×100mR	2	佐津川久遠 尾崎 陸登 梅谷 太紀 柴山倫太郎	名古屋西	41.99
4×400mR	1	青木 映瑠 佐津川久遠 尾崎 陸登 柴山倫太郎	名古屋西	3.18.18
	3	服部 匡恭 富田 大智 中西 永樹 三田 大喜	中京大中京	3.19.11
走高跳	1	木田 大晴	岡崎北	1.96
	2	宇野琳太郎	安城学園	1.93
棒高跳	1	増田 智也	中京大中京	4.90
走幅跳	1	中野 裕仁	名城大附	7.23
ハンマー投	2	佐々木秀斗	安城学園	54.01
やり投	2	松谷 武	至学館	53.92

女子

(GR:大会新)

種目	順位	氏名	学校名	記録
100m	1	井戸アビゲイル風果	至学館	12.05
	3	大城 珠莉	至学館	12.20
200m	1	井戸アビゲイル風果	至学館	24.97
	2	大城 珠莉	至学館	25.30
400m	2	生田奈緒子	中京大中京	57.49
800m	1	相場 里咲	豊橋南	2.12.68
	3	吉田 彩乃	愛知	2.17.58
1500m	2	小笠原安香音	安城学園	4.35.13
3000m	2	小笠原安香音	安城学園	9.59.95
100mH	2	西川 知沙	豊橋南	14.29
	3	安藤 愛未	至学館	14.31
400mH	2	三輪明日香	名城大附	1.03.32
	3	岡戸 美月	名古屋大谷	1.03.83
5000mW	3	上森 佳代	桜花学園	25.35.91
4×100mR	1	大城 珠莉 小椋 由衣 田中 海米 井戸アビゲイル風果	至学館	47.35
	3	坂田 伊吹 渡部 純果 村木 未落 中山 愛理	安城学園	47.96
4×400mR	1	山田真梨子 三輪 未来 平松 紗季 生田奈緒子	中京大中京	3.52.50
	2	都築 美音 大城 珠莉 山下なぎさ 井戸アビゲイル風果	至学館	3.53.54
走高跳	1	小笠原早矢楓	安城学園	1.71
棒高跳	1	塩崎 泉	至学館	3.50
走幅跳	3	都築 陽奈	三好	5.58
三段跳	1	都築 陽奈	三好	12.31 GR
	2	平松 紗季	中京大中京	11.81
円盤投	2	鳥居 佑南	安城学園	34.37
	3	鎌田 亜優	至学館	33.78
ハンマー投	3	林 みなみ	一宮北	43.47
やり投	1	石垣 綾香	半田	43.35

男子

区間	氏名	学校名	記録
第1区 (10km)	近藤幸太郎	豊川工業	30.41
第2区 (3km)	柳本 匡哉	豊川	8.35
第3区 (8.1075km)	蝦夷森章太	愛知	24.25
第4区 (8.0875km)	関口 雄大	豊川	24.32
第5区 (3km)	吉見 新	豊川	8.29
第6区 (5km)	永田 一輝	豊川	14.58
第7区 (5km)	岩城 亮介	豊川	15.17

女子

区間	氏名	学校名	記録
第1区 (6km)	藤中 佑美	光ヶ丘女子	19.12
第2区 (4.0975km)	浅田 遥香	豊川	13.18
第3区 (3km)	荻野 実夕	豊川	9.51
第4区 (3km)	稲吉 椿	光ヶ丘女子	10.06
	野尻 琴乃	豊川	
第5区 (5km)	鈴木 純菜	光ヶ丘女子	16.24

第31回愛知県小学生陸上競技選手権大会
2017年11月3日(金・祝) パロマ瑞穂スタジアム

少年

(GR:大会記録)

種目	1位	2位	3位
4年 50m	小野 真大 7.62 安城 JAC	平松 大雅 7.74 豊川 AC	水野 賢仁 7.77 なごや陸上
4年 走幅跳	柏崎 祐毅 4.14 作野 AC	田中 典真 3.86 JAC あつみ	三井 柁 3.83 東浦 AC
4年 ジャベリックボール投	天野 雅也 44.39 トライル AC	加藤 亮 42.03 大須 AC	安藤 楓真 42.01 東郷 AC
5年 100m	久野 聡 13.50 上郷 JAC	高井 佑太 13.51 JAC 武豊	平林 駿登 13.87 安城 JAC
5年 80mH	鈴木琥太郎 13.47 TSM	杉浦 碧 14.12 TSM	柴田 直人 14.51 TSM
5年 走高跳	佐々木 哲 1.30 TSM	木下 羽琉 1.15 布袋陸上クラブ	中北 涼太 1.15 十四山体育クラブ
5年 走幅跳	椛山 泰輔 4.67 愛知ハイテク AC	中野 彰人 4.61 JAC 武豊	村林 航輔 4.47 JAC 武豊
5年 ジャベリックボール投	鬼頭 孝征 53.31 GR JAC あつみ	北岡 知也 48.08 たかはま陸上	廣瀬 行成 46.22 いっしき陸上
6年 100m	向井 悠汰 12.84 安城 JAC	大参 南斗 12.90 安城 JAC	佐々木康太郎 13.07 東浦 AC
6年 80mH	鈴木 哉汰 12.42 TSM	早川 耀統 12.75 TSM	丸山 空 13.44 TSM
6年 4×100mR	安城 JAC 50.73	TSM 51.19	安城 JAC B 52.15
	宮本 星陽 大参 南斗 齋藤 和弥 向井 悠汰	鈴木 哉汰 鈴木 權斗 横山 将也 天野 友貴	堀 紘輝 神谷 海渡 加藤 快都 松永航太郎
6年 走高跳	大谷 一惺 1.35 JAC あつみ	鈴木 駿介 1.30 豊川 AC	高木 一成 1.30 いっしき陸上
6年 走幅跳	森部 諒 5.14 JAC 武豊	古橋 航青 4.66 知立ジュニア	杉原 明成 4.64 田原陸上クラブ
6年 ジャベリックボール投	兼井 怜心琉 60.05 GR 桜町クラブ	渡辺 陸 55.42 JAC 武豊	杉本 要 47.78 橋 AC

平成29年度愛知県高等学校駅伝競走大会

男子第68回・女子第29回全国高等学校駅伝競走大会愛知県予選会
2017年11月5日(日) 知多運動公園陸上競技場～市道北浜金沢線
(男子:42.195km・女子:21.0975km)

順位	男子		女子	
	学校名	タイム	学校名	タイム
1	豊川	2.07.34	光ヶ丘女子	1.09.10
2	愛知	2.08.34	豊川	1.09.28
3	中京大中京	2.11.00	安城学園	1.13.25
4	名経大高蔵	2.12.16	岡崎学園	1.13.46
5	愛知黎明	2.12.45	愛知	1.14.04
6	時習館	2.13.05	千種	1.14.58

6年 二種競技A	横山 将也 1156 TSM	永田 敦也 1143 TSM	山本 琉誠 1133 豊橋陸上クラブ
6年 二種競技B	天野 友貴 1545 TSM	大坪 一平 1462 OBU エニスポ	寺下 頼檜 1370 豊橋陸上クラブ

第66回愛知県中学校駅伝大会
2017年11月18日(土) 新城総合公園

少女 (ELR: 県小学生記録 GR: 大会記録)

種目	1位	2位	3位
4年 50m	神谷 朱里 7.61 安城 JAC	三輪 琉姫 7.73 トライル AC	細井 杏菜 7.98 安城 JAC
4年 走幅跳	加藤 蒼乃 3.96 JAC 武豊	加藤 佑奈 3.93 知立ジュニア	天野レイナ 3.89 TSM
4年 ジャベリックボール投	猶崎 由梨 36.89 トライル AC	伊藤 優亜 35.54 愛知つばさ	市川心々音 34.56 蒲郡クラブ
5年 100m	佐藤 俐有 13.50 田原陸上クラブ	加藤 愛菜 13.85 豊橋陸上クラブ	杉藤 葵 14.16 AC 一宮
5年 80mH	寺島 慶 13.80 TSM	高寄 胡桃 14.07 TSM	菊田 彩 14.33 TSM
5年 走高跳	大岡 愛佳 1.25 作野 AC	1.20 岩田 帆海 布袋陸上クラブ 石田 彩桜 TSM 平原 明歩 田原陸上クラブ	
5年 走幅跳	岸本 侑里 4.14 TSM	山上 夢乃 4.06 田原陸上クラブ	行田果奈朋 4.04 田原陸上クラブ
5年 ジャベリックボール投	中村 文香 42.54 TSM	河合 南菜 39.79 JAC あつみ	松永のどか 30.81 なごや陸上
6年 100m	熊本 彩 13.47 豊橋陸上クラブ	林 美希 13.47 岡崎 JAC	嶋 結菜 13.52 TT ランナーズ
6年 80mH	松浦 紗良 12.84 TSM	河合 姫星 13.07 JAC あつみ	末吉ななみ 13.39 成岩 SC 陸上
6年 4×100mR	安城 JAC 52.79 新家あさひ 比嘉 波音 松浦 加奈 川口 莉絆	豊橋陸上クラブ 53.47 小原すずか 菅沼 梨瑚 熊本 彩 小酒井結菜	岡崎 JAC 53.78 片山 心菜 林 美希 齋藤 梨奈 原田 侑奈
6年 走高跳	竹内かれん 1.35 JAC 武豊	1.30 西住 咲重 JAC 武豊 脇田サラ愛香 TSM	
6年 走幅跳	武井 葉夏 4.85 GR なごや陸上	松村 琴都 4.75 TSM	酒井 菜胡 4.59 刈谷 AC
6年 ジャベリックボール投	木村 優星 47.25 知立ジュニア	横江ひかり 42.30 田原陸上クラブ	永柳 結都 42.30 JAC 武豊
6年 二種競技A	松浦 加奈 1668 安城 JAC	川口 莉絆 1629 安城 JAC	小川 奈菜 1472 TSM
6年 二種競技B	渡辺実優花 1926 ELR GR AC 一宮	田島 七里香 1864 TSM	片山 由梨 1635 JAC あつみ

女子成績

1	一宮中部	43.25		
	(児玉綺亜羅・蔵 芽生・丸富風紗・横田十彩・坂川恋露)			
2	横須賀	43.36	6	岩津 44.12
3	矢作	43.40	7	古知野 44.41
4	一宮	43.59	8	千種 44.50
5	六ツ美北	44.02		
区間賞	1区	阪井 空 (水無瀬)	10.10	
	2区	谷口 晴菜 (新香山)	7.17	
	3区	青山 理奈 (御幸山)	7.12	
	4区	横田 十彩 (一宮中部)	7.14	
	5区	渡辺 萌梨 (六ツ美北)	10.15	

男子成績

1	田原東部	57.18		
	(寺田愛基・西田太郎・鈴木大輔・高橋洋也・白井勇佑・吉居駿恭)			
2	竜海	57.29	6	逢妻 59.08
3	豊川東部	58.29	7	豊川西部 59.13
4	甲山	58.47	8	七宝 59.21
5	宮田	59.02		
区間賞	1区	後藤 謙昌 (翔南)	9.27	
	2区	西田 太郎 (田原東部)	9.13	
	3区	永田 将也 (甲山)	9.20	
	4区	安藤 圭佑 (豊川東部)	9.18	
	5区	白井 勇佑 (田原東部)	9.16	
	6区	小林 亮太 (竜海)	9.10 GR	

トピックス

桐生祥秀選手 9秒台の陰にこの人あり
トレーナー 後藤 勤さん

9月、日本人初の9秒台に陸上界ばかりでなく、日本中が沸き立ちました。高3の10.01から4年、待ちに待った瞬間でした。

さて、皆さんはこの快挙を愛知県出身(現在西尾市在住)の人が支えていたことをご存知でしたか。その人は岡崎市で鍼灸院を開業しておられる後藤 勤さんです。

後藤さんは、進学した中京大学(室伏広治選手と同期)ではトレーナーブロックに所属されたそうです。2年生の時に愛知県で開催されたのが、「若しゃち国体」です。陸協強化委員会の医事部会を取りまとめておられる佐藤丈能さんから声を掛けられて医事部会に入られたことが、トレーナーとしての一歩となったのです。その後佐藤さんの推薦で2002年のアジア選手権に帯同され、日本代表のトレーナーとして活躍されることとなります。2005年ヘルシンキ世界陸上、2007年大阪世界陸上、2012年ロンドンオリンピックなどでは、トレーナーのトップ代表を務められました。現在は日本陸上競技連盟の中部地区の医事部会

男女混合 (ELR: 県小学生記録 GR: 大会記録)

種目	1位	2位	3位
4年 4×100mR	安城 JAC 57.29 ELR GR 細井 杏菜 神谷 朱里 鳥居 快叶 小野 真大	TSM 59.25 井坂 優里 岡 郁菜 高島 悠生 中島 悠太	豊川 AC 59.52 堀 和月 太田 結菜 平松 大雅 安形 宗士
5年 4×100mR	安城 JAC 54.81 都築 美愛 手嶋 咲貴 百崎 蒼太 平林 駿登	田原陸上クラブ 55.18 渡辺 葉夏 佐藤 俐有 西山 悠雅 鈴木 琉聖	豊橋陸上クラブ 55.45 河合 美駒 加藤 愛菜 川西 優輝 大武 混征



リオオリンピック銀メダル獲得の桐生選手と

の取りまとめ役を務めておられます。

桐生選手との出会いは、彼が高校3年生の時でした。代表を退かれた後、洛南高校の柴田先生からインターハイでのサポートを依頼されたことが最初だそうです。ダイヤモンドリーグへ出場したり、モスクワの世界選手権代表となった桐生選手に日本陸連から補助金が与えられることになったのがきっかけでした。東洋大学に進学する際にも、土江コーチから依頼されこれまで5年間のサポートをされてきたこととなります。大学進学後は、週1回の、また試合の時のフルサポートを行なってきているとのこと。

詳しくお話を伺うと、年間130日ほどの上京ということで、まず物理的になかなか厳しいものだなと思いました。また、有名選手のトレーナーということでプレッシャーに押しつぶされそうになることもあったとのこと、後藤さんの言葉によれば「地獄の4年間」だったそうです。サポートの中心は、もちろんコンディショニングにあります。この点においては、ナショナルトレーニングセンターの医師とも連携をとっておられるのだそうです。このことにも増して重要なことは、桐生選手と土江コーチの間に立つことだったように思われました。9秒台に突入した日本選手権も、実は出場したくないくらいの気持ちを桐生選手は持っていたのだそうです。太ももの裏に不安があったから、試合前の3週間ほどの間にスパイクを履いたのは1回だけだったそうです。坂ダッシュを100本やった時より筋肉の張りはないと言って本人の不安を打ち消しながら、土江コーチとの間に立って、出場にこぎつけたとのことでした。5年間の実績が生きた9秒台だったと言えます。

現在、パロマ陸上競技場では佐藤さんを中心にトレーナーが常駐してくださっています。しかし、これは愛知県だけだとの話も伺いました。ボランティアで毎回トレーナーが集まるのは難しいとのこと、愛知のシステムを見学に来た他県の皆さんも、立ち上げはするものの挫折してしまわれるのだそうです。大会役員ならびに選手の皆さんも、愛知陸協の医事部会の活動を当たり前のようにつけてはいけなかったと思います。(取材・文責 大西敏功)

②その他

2 報告事項

- ①国体代表選手の強化合宿について
- ②U20・U18 陸上競技選手権大会について
- ③マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2018について
- ④全国高校陸上競技大会の成績について
- ⑤第43回全日本中学校陸上競技選手権大会出場者について
- ⑥全国小学生交流大会について
- ⑦各専門委員会報告
- ⑧その他

(水野 隆夫)

栄章

おめでとうございます

平成29年10月6日(金)～10日(火)第72回国民体育大会「愛顔でつなぐえひめ国体」の会場「愛媛県総合運動公園陸上競技場(松山市)」において、日本陸上競技連盟より、次にあげる皆様が栄章を授与されました。心よりお祝い申し上げます。

(秩父宮章) …日本陸連・加盟団体への功労者

小島 末廣(愛知陸協評議員・尾張陸上競技協会会長)

(高校優秀指導者章) …高校生指導者としての功労者

服部 光幸(愛知高等学校)

(中学優秀指導者章) …中学生指導者としての功労者

谷口 直土(御幸山中学校)



(水野 隆夫)

編集後記

◇台風接近の中、一部の選手・チームには残念であったが何とかU20・U18大会を主管でき、ほっとしている。大きな大会開催ごとに愛知陸協の結束が高まっていくのを感じる。◇駅伝・ロードレースの季節がやってきた。競技者ファーストでさらに努力を重ねたい。◇寄稿者に深謝。

理事会等会議報告

○8月理事会 29年8月7日(月)18:00 教育会館

1 協議事項

- ①第72回国民体育大会愛知県代表選手団(役員・選手)の選考について

編集委員

大西 敏功 小坂 拓 鈴木人呂信 竹前 正直
茶谷 和彦 新見 精三 野口 一昭 山下ゆかり
横田小百合